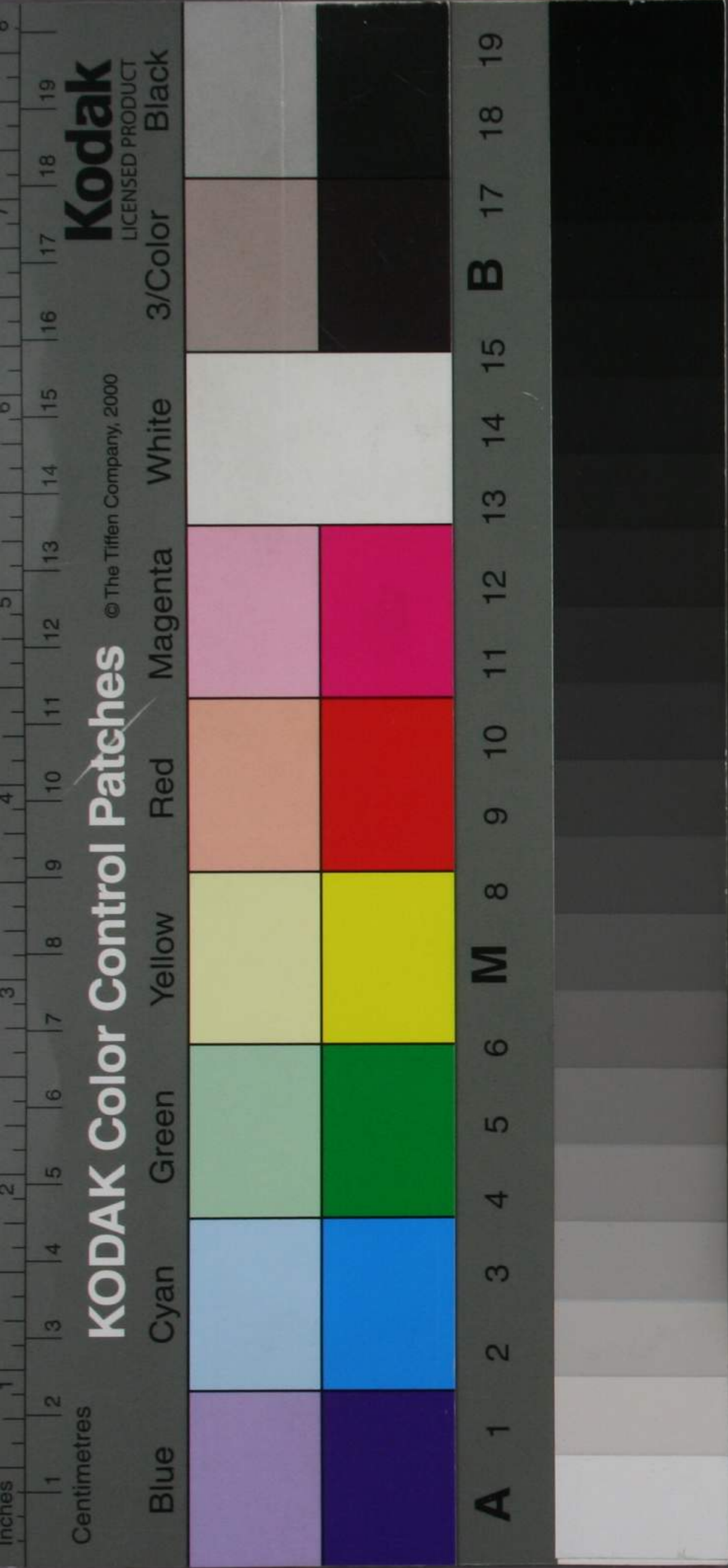
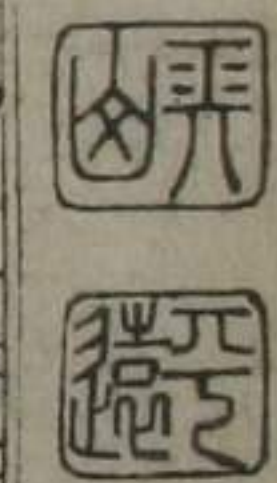






ル 3
3258

岐蘓路安見
繪圖



岐蘓路を委く記せし書と
貝原先生の本を路乃記
小鍾坊の本を懷宝鑑の面書
乃今此二書より以て
之を正し之を更なる紙蓋
にすこと安んぬ
富より右の紙一紙乃下面
小鐘圖に顯し
本を安見陰圖と号す
者楊編

者楊編

ル 4
3086

湖之景 訪諏



江戸

日本橋

中橋
通丁

白丁
石丁
市丁
宝丁
今川

退分
板一
りつふ斗
いふふ丁
長

油山
いんざん

立条屋
いふふ屋
いふふ屋
いふふ屋



板橋

王寺、十町余

河越、二里八丁
川越、八丁

清永村
遠浪村
清永村
遠浪村

二里八丁
河越、七三丁
川越、八丁

東
謝
金



坂下、清永あり
高村のきりぎりす

戸田川の上を
入る川といふ
水、いかにぬる
流、きりぎりす
清永、角田川
戸田川、角田川

戸田川、角田川
戸田川、角田川
戸田川、角田川

は、きりぎりす
は、きりぎりす
は、きりぎりす

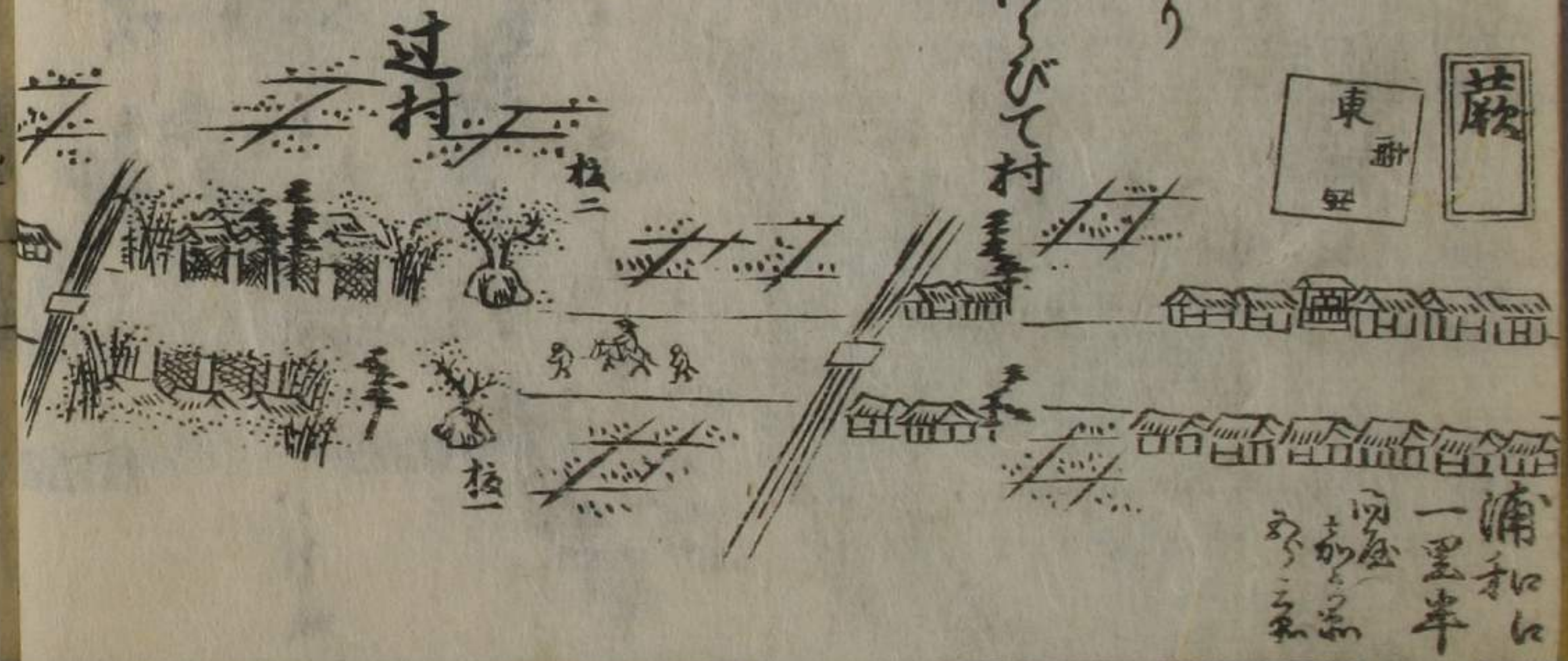


月の入
廿二夜堂



はな 年 中 せ じ 家
き ち め ち ち
く り ち ち ち ち ち
か ち ち ち ち ち

い ち
ち ち ち ち ち



東 村
東 村

浦 和
一 里 半
ち ち ち ち ち

浦和

高のたふさの社
あり
ういんやあり

てんてんてんてん
てんてんてんてん

東
野
田

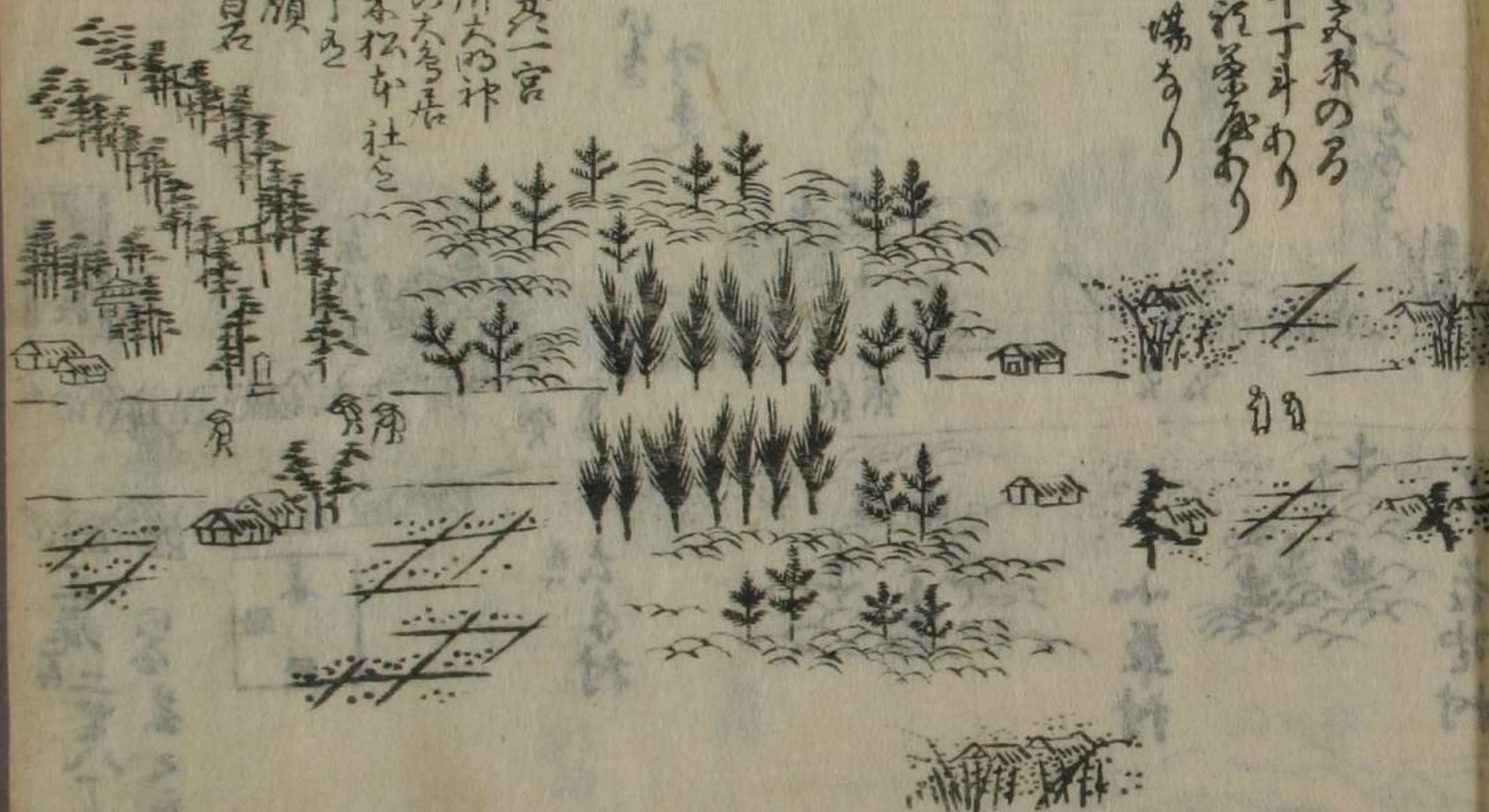
大文に「里十」
同
村

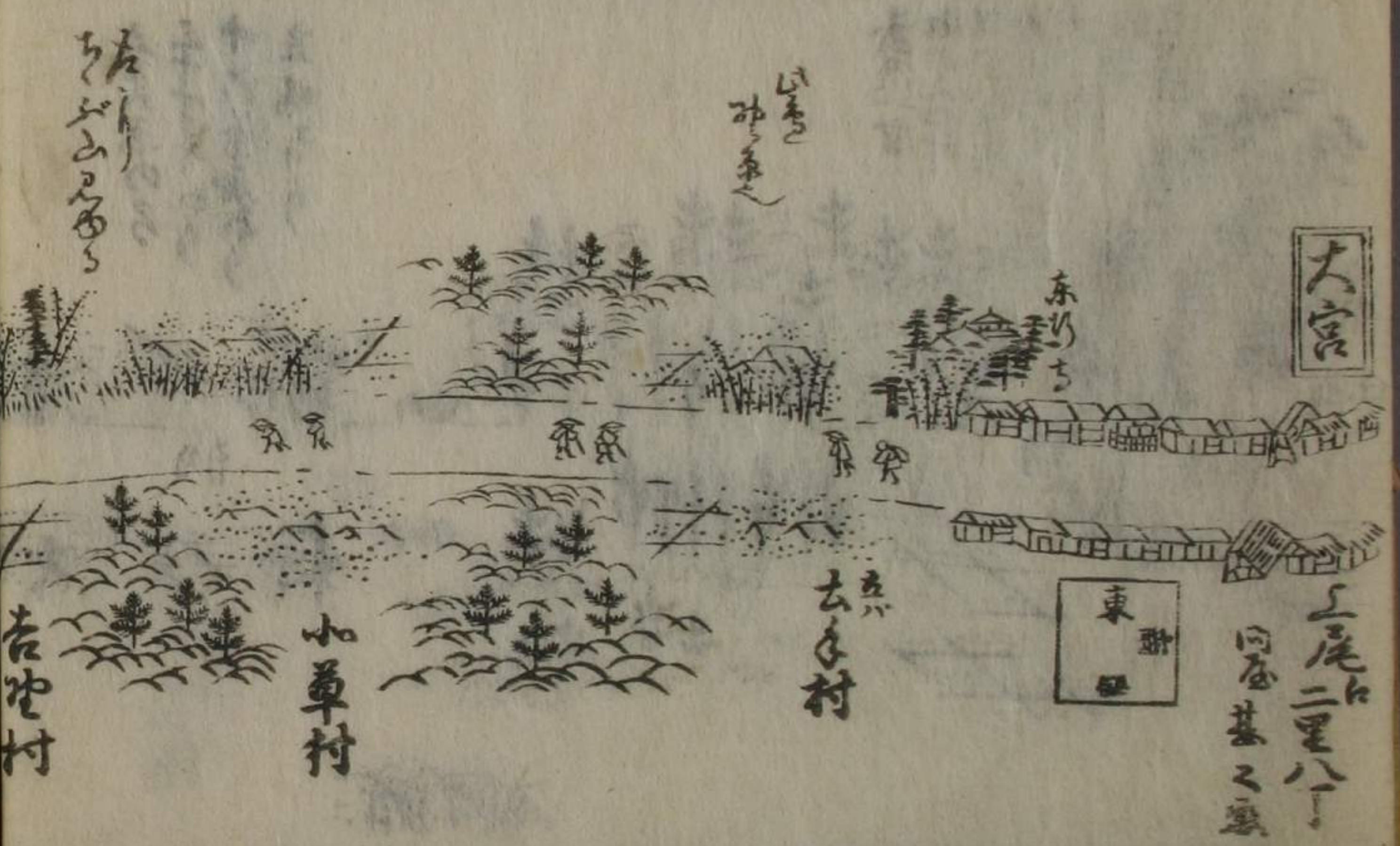
空のまじりつり
るす山へる

ろ
村

大文のろ
三千斗あり
中流のろ
五端あり

武蔵一宮
氷川大の神
石のたふさ
並木松が社と
大丁と
社願
三百石





上尾

左の方川越乃
右の方岩淵(お)
なあり二里あり

いもとゆき系之

左よりいん山
松の林あり
らんとんのみ
あり

町屋村

桶川二十丁
同
松
海
市

社
の
後
の
井



桶川

通りの中
天王の
文

鴻の巣二里半丁

田舎

ゆき

ゆき

ゆき

ゆき

ち方板で

うはえ村

はあ
うり
うり
うり
うり

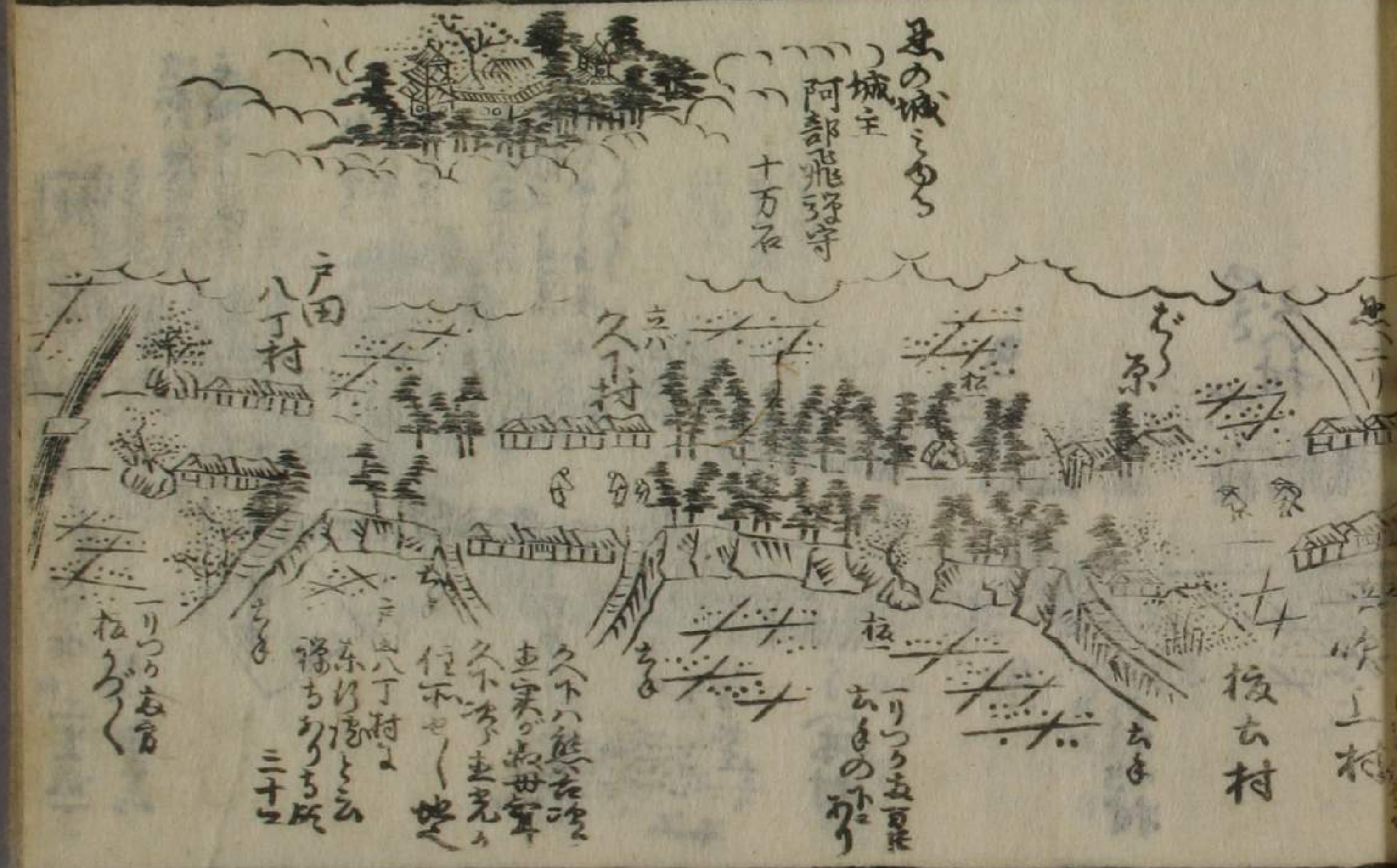
えりうのす

せんげんの
社

あはま村

かき野田

ひら





深谷

所のありゆく
天王のまへ

本庄に二里廿九丁
向ふ十町

かやぶ村

岩の根村

岩の根村

安部丹波守
二万石余

日たふし
ゆきふり

岩の根村

玉の根村

岩の根村

岩の根村

岩の根村

岩村

新田、ヨリ
世高、ヨリ

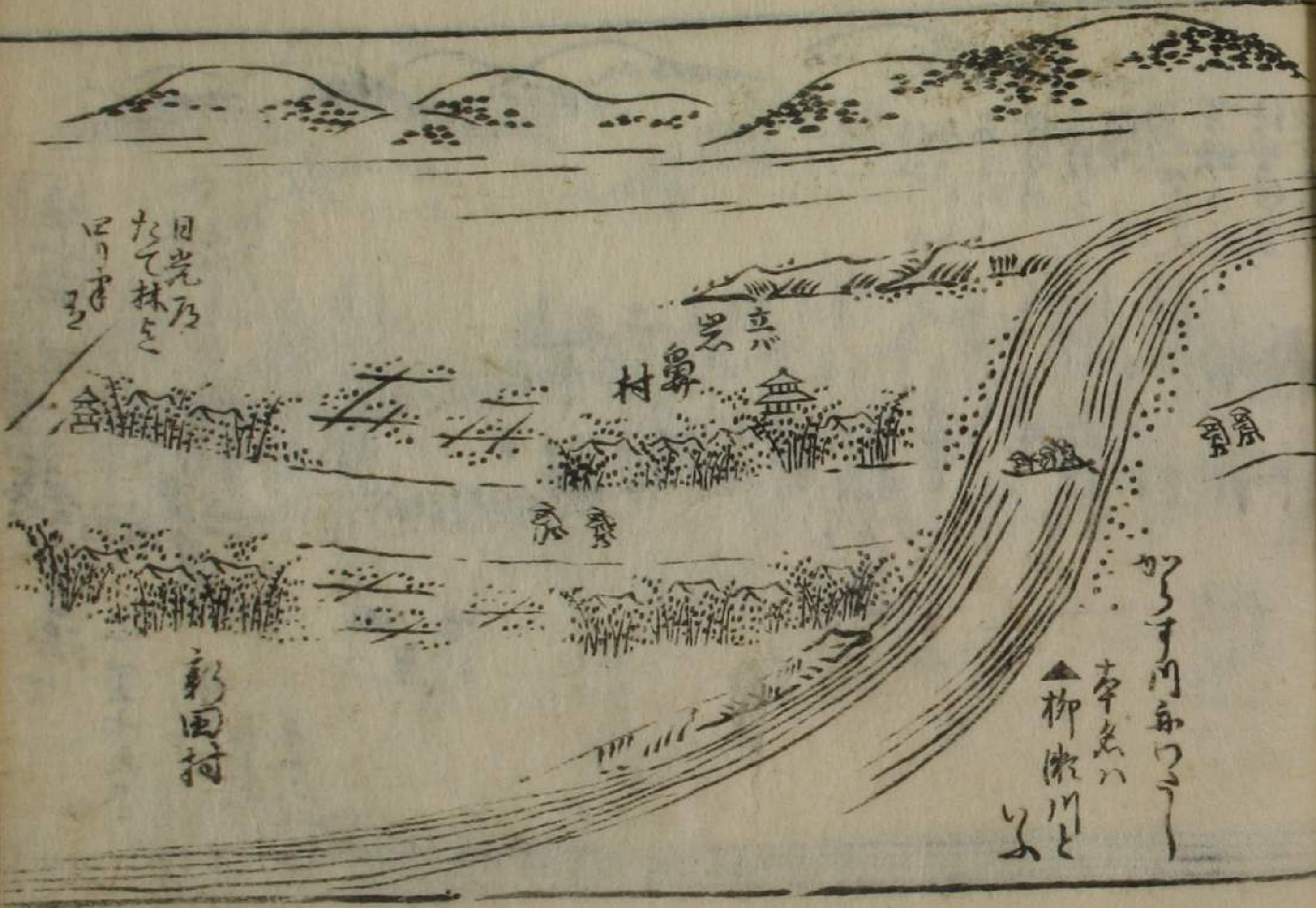
小山川

牧村

侍尔雲村

赤城山

岩の根村



日光乃
たて林を
四り

新田村

立
村

かす月あつし
本馬
▲柳瀬川と
いふ

▲柳瀬川
此川は馬川碓氷川
甘楽川等と合
流する柳瀬川といふ
川なり定る所も
なくて沢路なるを
けるが新田の沢小林
伊豆といふ者
公に神ういふ唐九
知年より定るに
ふとたり
運賃所定
本馬 拾五文
恒尻 拾貳文
人 拾文

新田

十八の年



中野村

立石
新田

ぬくの川
ふり

金田村
一里半
田舎





板屋

大王

安中二十丁

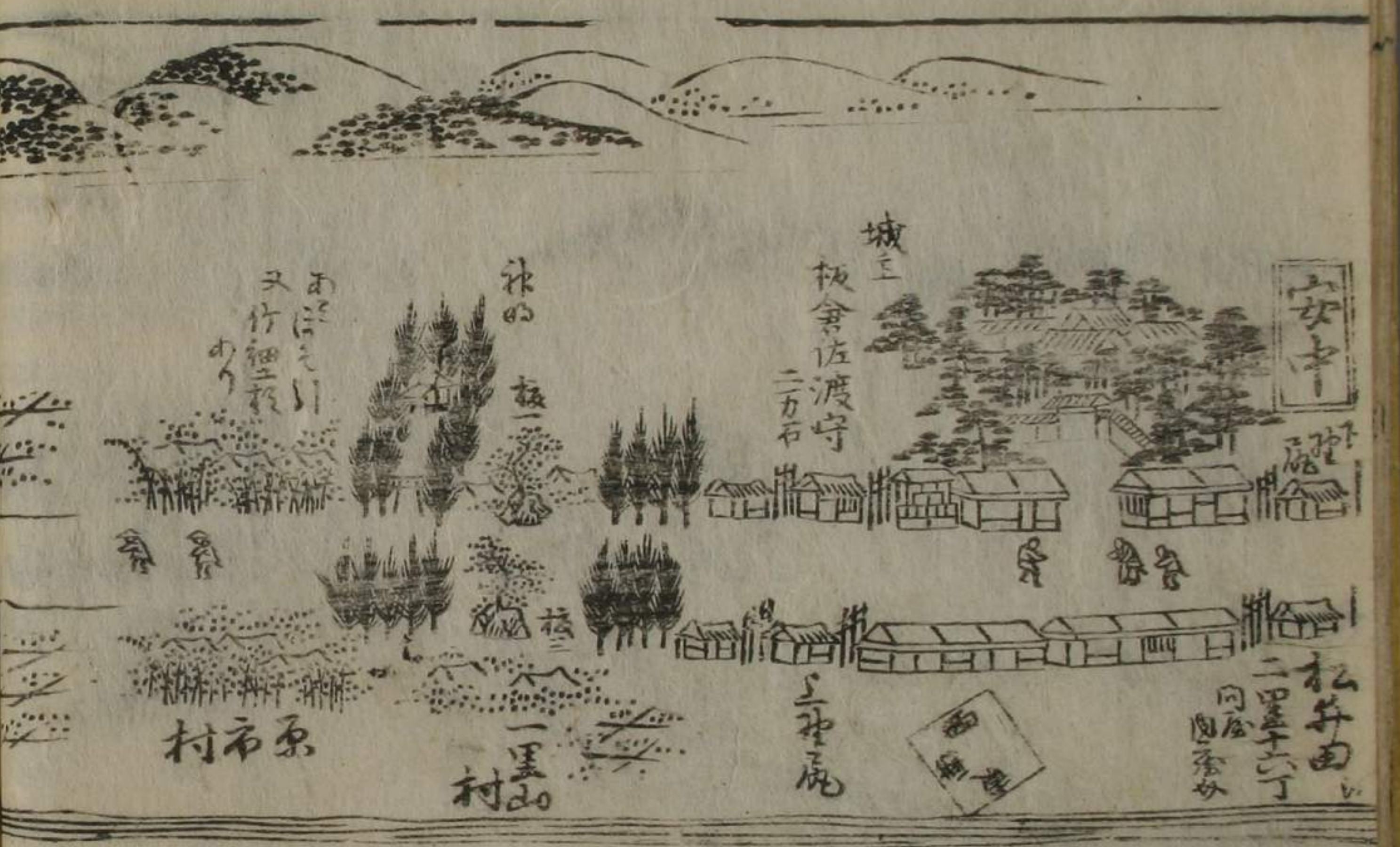
利太

昭興

栗の山
ほろはら

中流

あ中川



権井沢
追分



権井沢を越え
十町斗よりく
降より権井沢を
くわきまきつる
は地は法王より
きし九位院を
目撃の月あり
地龍もさあき
そは八海をく
山をくわきま
四方の隣玉より
権井沢より八海より
きし八海より
きし八海より
きし八海より
きし八海より



山は雲に隠れ
 谷は霧に覆はれ
 村は静かに
 暮らす
 人の心は
 静かに
 暮らす



山は雲に隠れ
 谷は霧に覆はれ
 村は静かに
 暮らす
 人の心は
 静かに
 暮らす

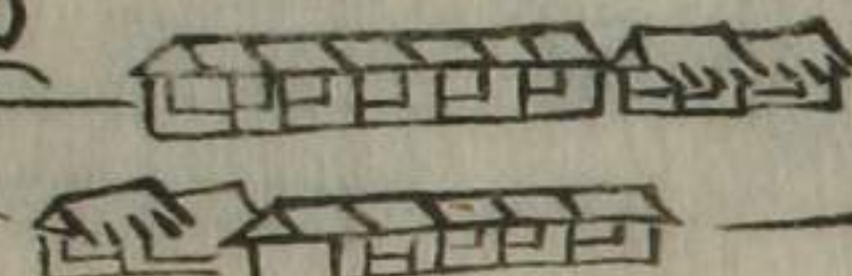
山は雲に隠れ
 谷は霧に覆はれ
 村は静かに
 暮らす
 人の心は
 静かに
 暮らす

本居清左衛門
 おろく政ゆ人退き
 長老あ十八里
 煙井次くわん
 退分三嘉乃
 南小まを斗東西
 二二と往年うま
 床あやハきこく
 み穀生や民民
 そと斗生民あふ
 富や又葉の本
 る民あうも
 棟本あり室
 不毛の地とて



二重

海

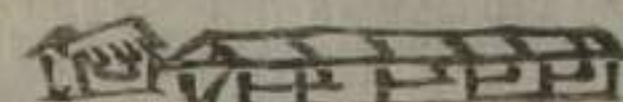


海

二万五千里



小諸



柳 新

柳 三

松平修 五

田上



丹波 一ノ宮

近分

稲荷山
三ノ宮

はろ
小市
とい

八達

三ノ宮
同金
大坂

若菜
他
す
な

川
月
の

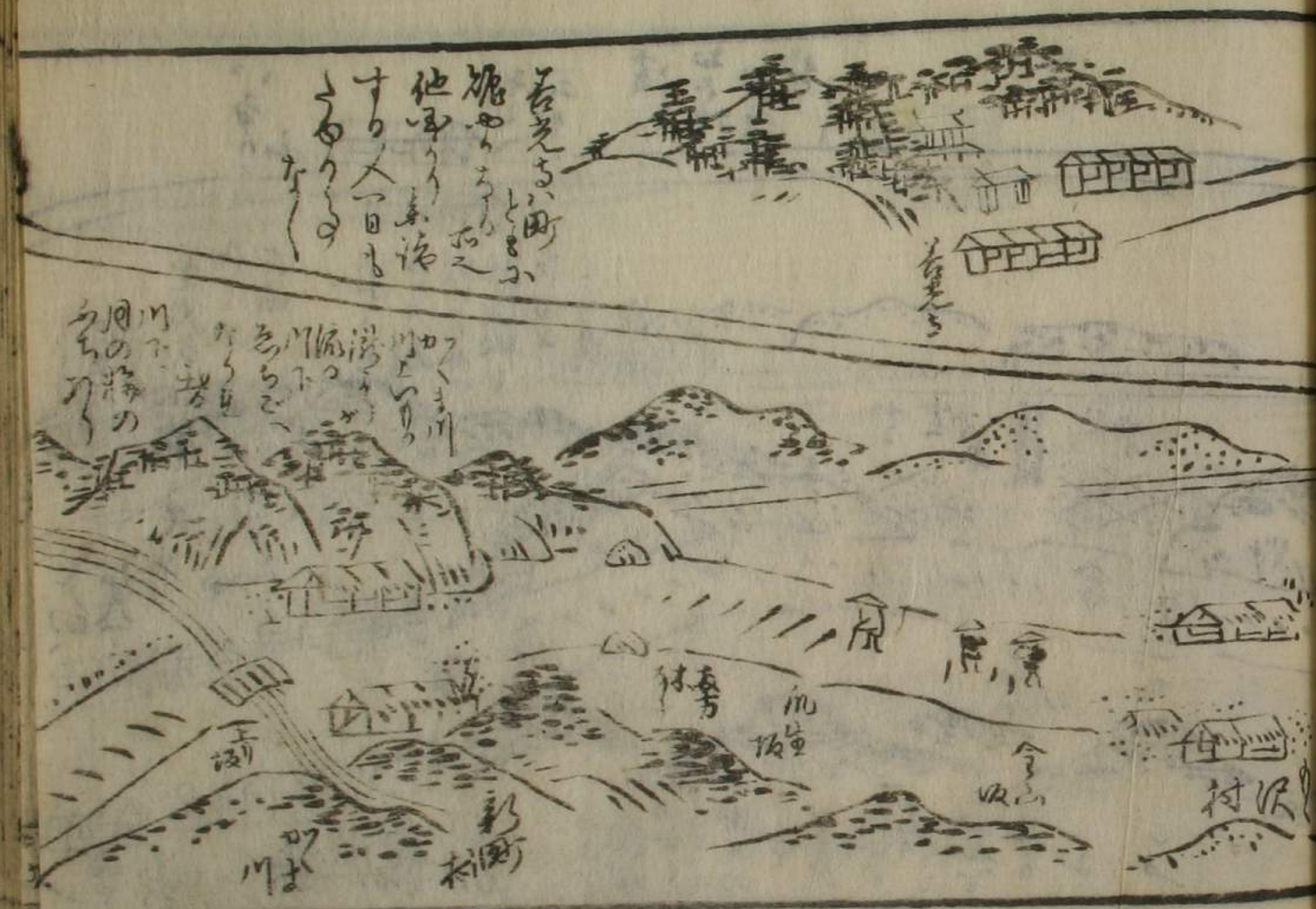
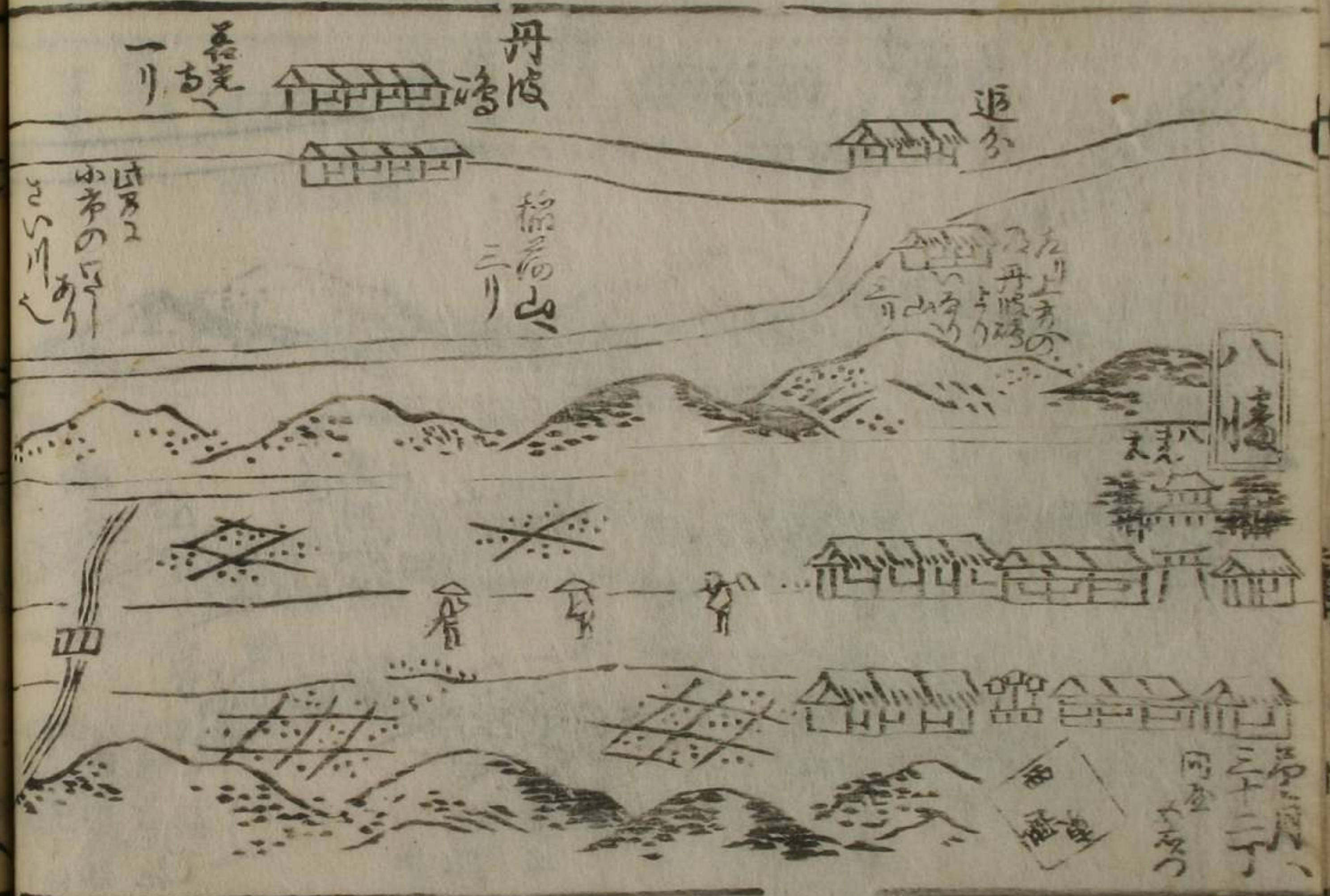
村
山

山

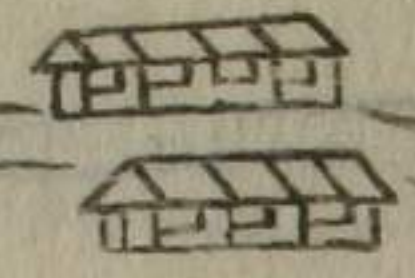
村

川

村



十
一
二

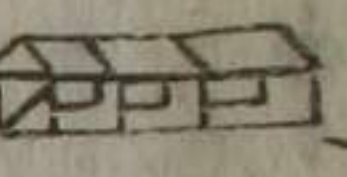


や
え



は
お
り
に

三
り
お
こ
し



い
り
山

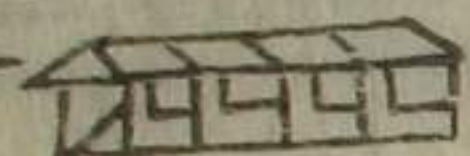
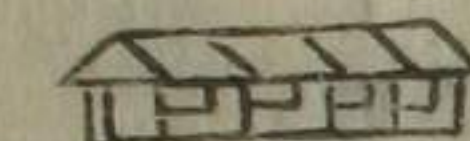
は
お
り
に
お
こ
し
三
り
お
こ
し

を
月
氏
代
の
古
城

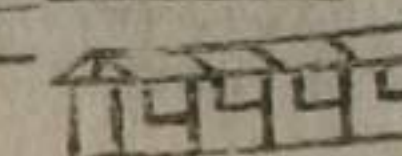
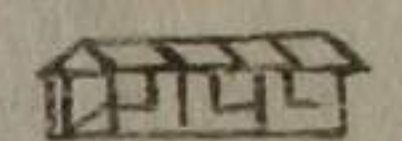
室
月



一
十
リ
系
や
金
田



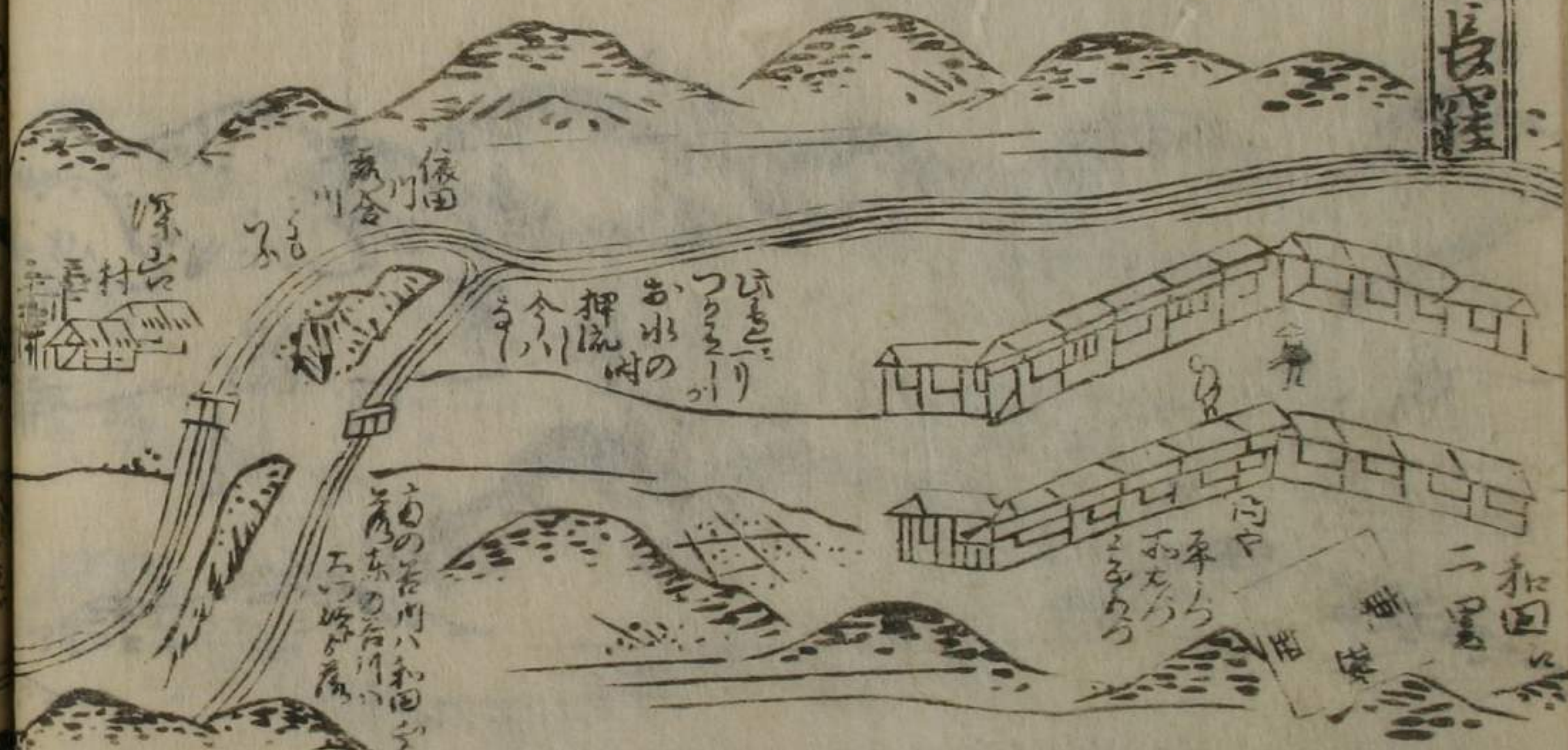
二
リ
系
や
金
田

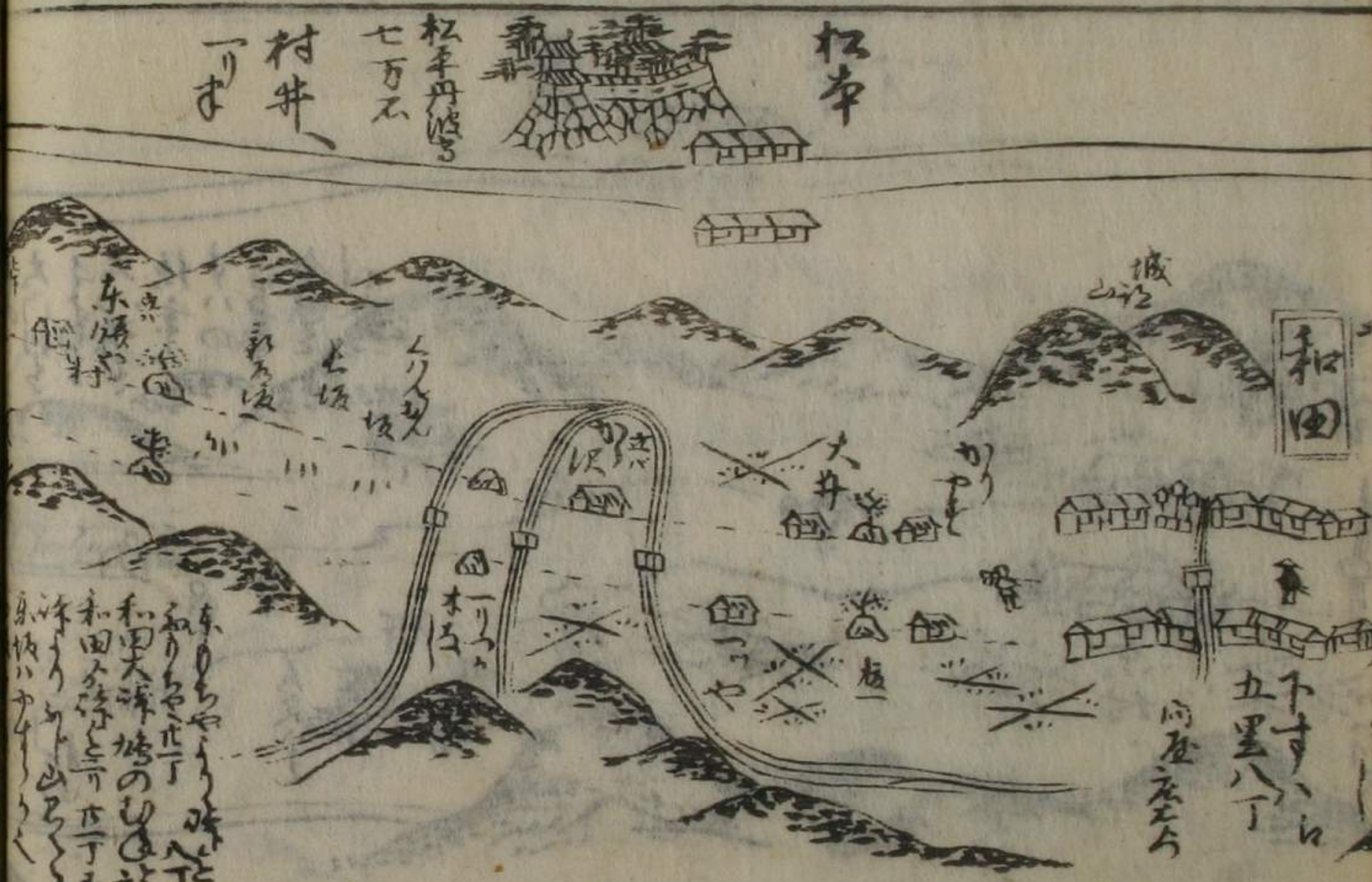
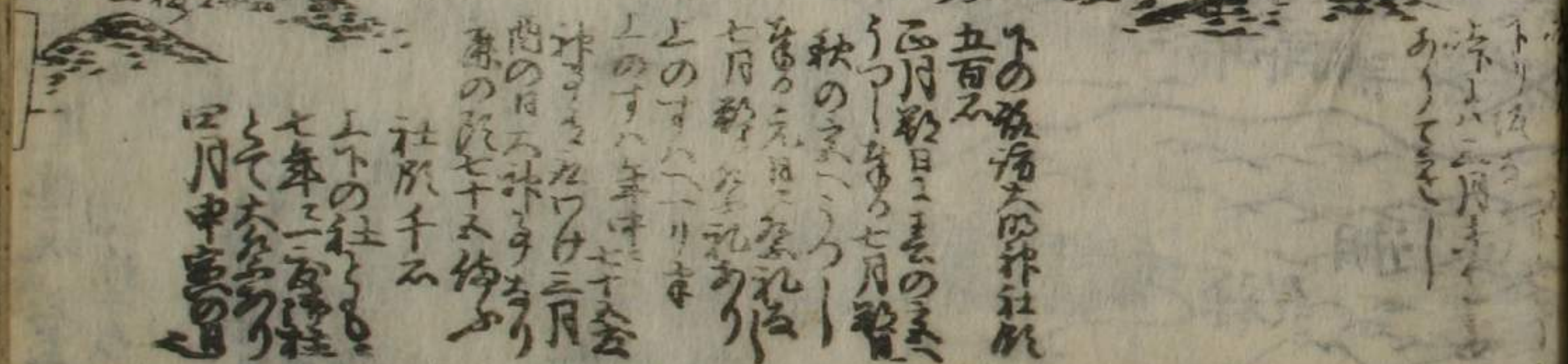


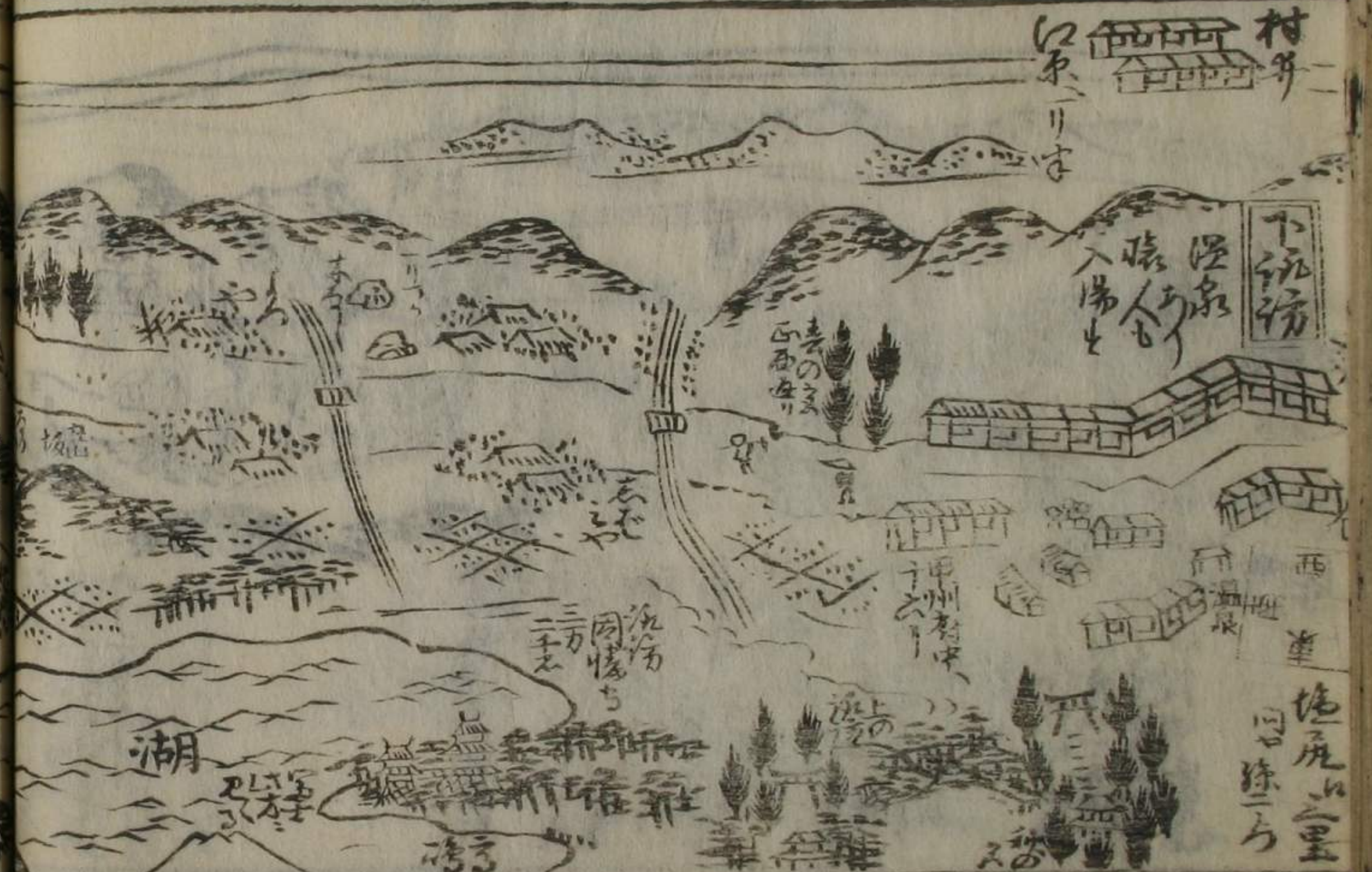
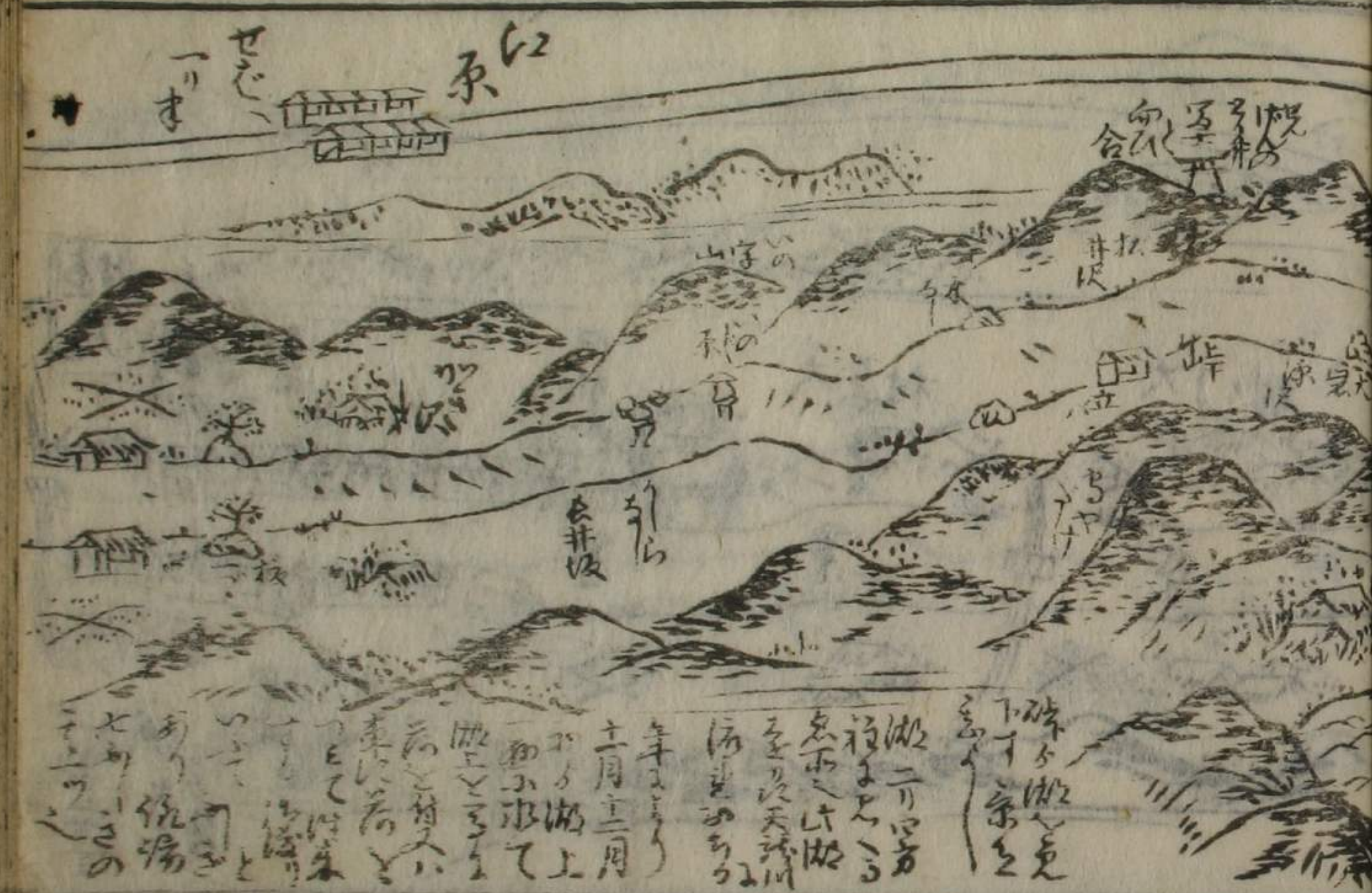
墨田
松本
十丁



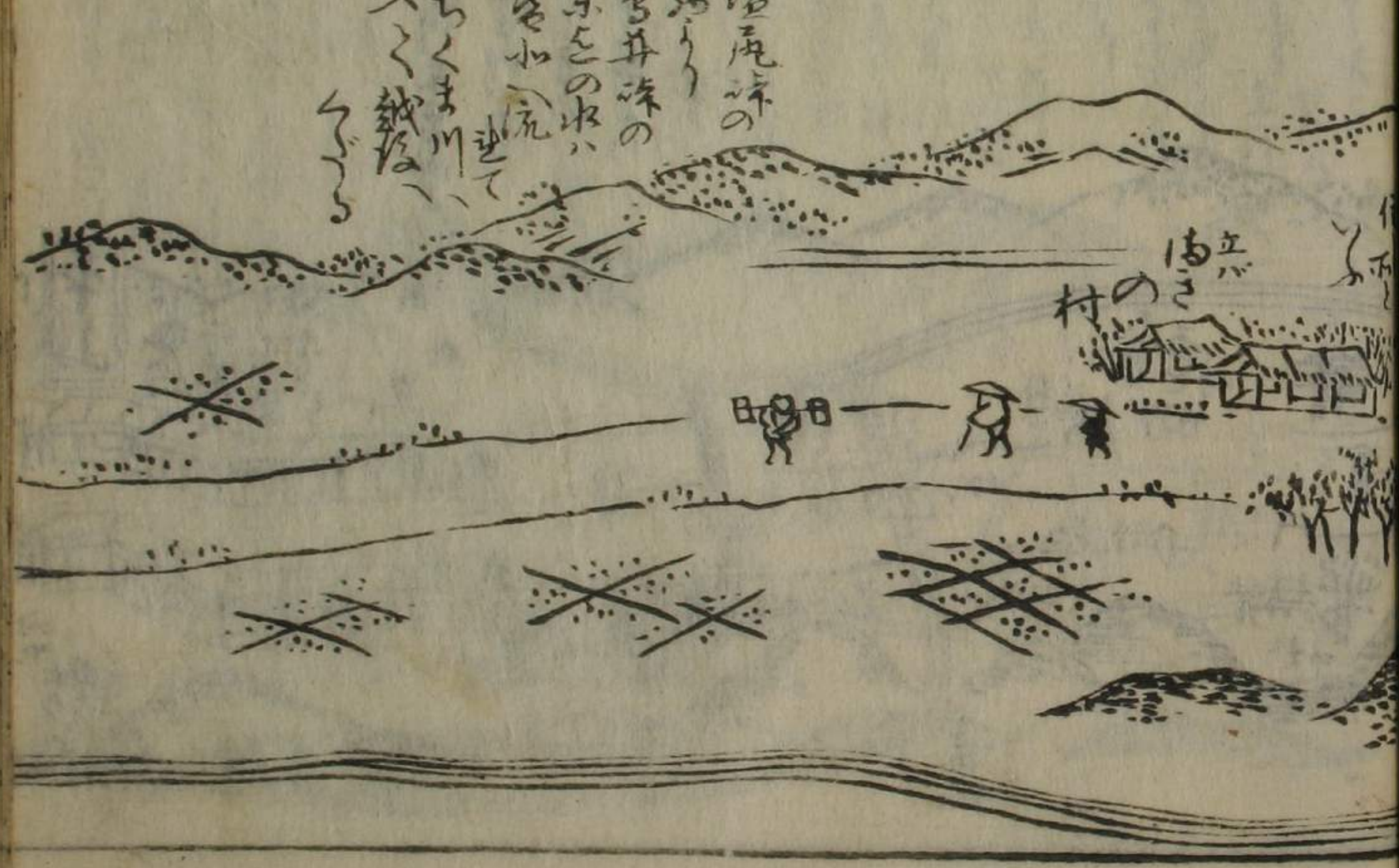
かや
墨田
一丁
北八丁







塩尻の
 所より
 塩尻の
 所より
 塩尻の
 所より
 塩尻の
 所より



洗馬

大田の
 所より
 義仲の
 所より
 洗馬
 子と

西
 車

三丁

洗馬
 子と

いふ
 今井
 義仲
 所より
 洗馬
 子と

小田

洗馬

大田

Hand-drawn map of a mountainous region, likely a historical or fictional setting. The map shows a river flowing through the landscape, with mountains in the background. Key features include:

- Mountains:** Several mountain peaks are depicted in the background and foreground.
- River:** A river flows from the top center, branching into two main channels that flow towards the bottom.
- Settlements:**
 - On the left bank, there are several small houses and a larger building labeled "新" (Shin).
 - On the right bank, there are several large, rectangular buildings, possibly warehouses or government offices.
- Signposts and Directional Markers:**
 - A signpost on the left indicates directions: "上" (Up) and "下" (Down).
 - A signpost on the right indicates directions: "西" (West) and "東" (East).
- Other Labels:**
 - "山" (Mountain) is written at the top right.
 - "二里" (Two miles) is written near the top right.
 - "新" (Shin) is written near the top left.
 - "新" (Shin) is written near the bottom left.
 - "新" (Shin) is written near the bottom right.

[illegible]

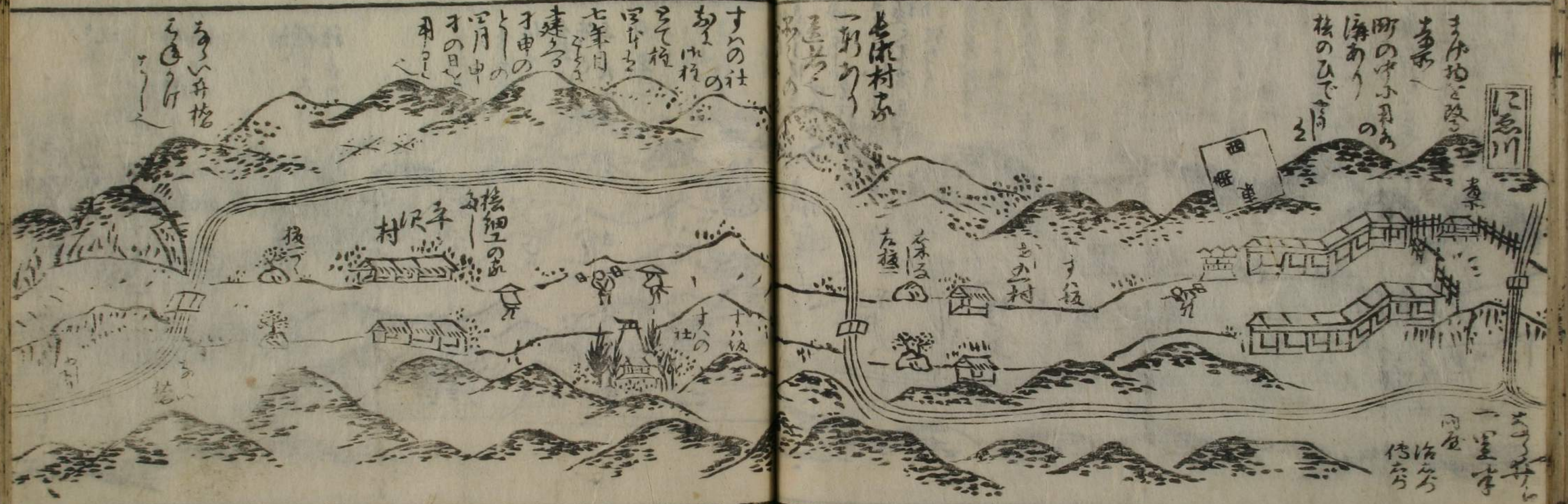
まゆめと改
事
所の中ふ君の
海あり
松のひで

に急川

と保村家
一町あり

すいの社
あいの
とて松
四日
七年日
建てる
才申の
と月申
才の目
月

あゝ井松
らひ



一里半
同
伝

素心

庚辰

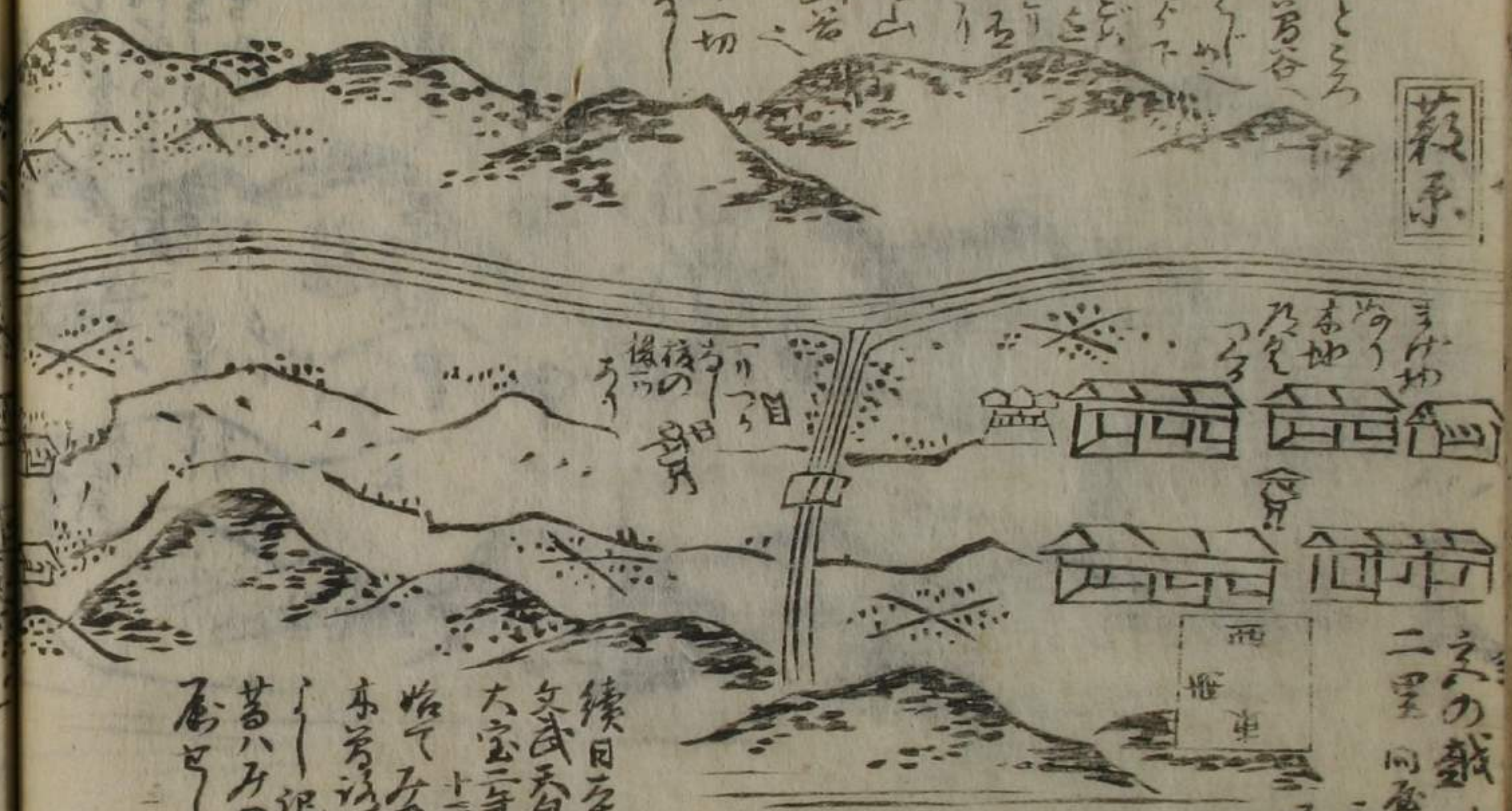
年

未為現



教系

はとろ
本宮谷
入る
是下
十
源山
出
竹一切



續日守紀曰
文成天皇の
大正二年
始て乃の玉
本宮谷を周
く一紀せり
昔八乃の玉
居りて

之の穀
二里同
東
西

本宮川
左

公卿の社門
我々の
山を
りふ
る
今

徳政
巴山
泰
巴
り
本宮川
ち





三田八郎平
 父本音の
 仲三郎を
 養育する
 時母抱て
 伝はる
 養育せ
 ぬ



三田八郎平
 父本音の
 仲三郎を
 養育する
 時母抱て
 伝はる
 養育せ
 ぬ

三田八郎平
 父本音の
 仲三郎を
 養育する
 時母抱て
 伝はる
 養育せ
 ぬ

三田八郎平
 父本音の
 仲三郎を
 養育する
 時母抱て
 伝はる
 養育せ
 ぬ

河内所

福

往來の志

女改改改改

高麗の志

清雲の志

山村の志

新の志

福の志

安の志

毎月の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

上松
山
村
の
志

福
の
志

安
の
志

毎
月
の
志

の
志

の
志

の
志

の
志

の
志



河内所

福

往來の志

女改改改改

高麗の志

清雲の志

山村の志

新の志

福の志

安の志

毎月の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志

の志



此石垣
戊子年
六月良
辰成就
焉畢

又

實保元年

辛酉十月吉辰

是日

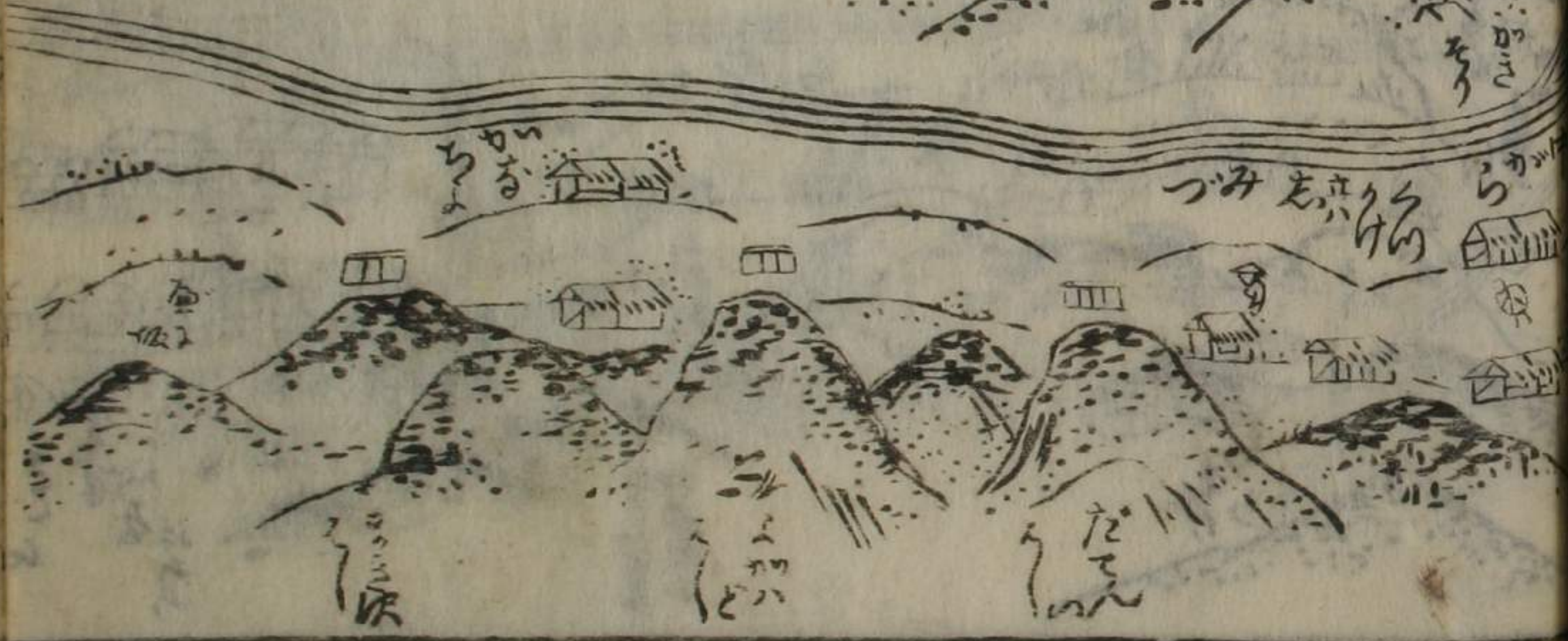
仙道の座
 龍泉の座
 下座
 海山の座
 斗雲の座
 おまゝ無常天
 社あり
 そへ順
 ふきふき
 海山の座
 座あり
 名はぬ
 名はぬ
 名はぬ
 あらすよ
 いもふ
 元は地他地の
 すべれい
 内系うも
 奇妙なる座
 んとそふ

[illegible][illegible][illegible][illegible]

野馬



けりか
多し
名と
本居の
あ
けり
大
清
新



凡この

和合
作
和合

延喜の世美
出水の平

一、墨守
同登
孫如方

西夷村

513³ 10 20 30

和

55

13 3/4

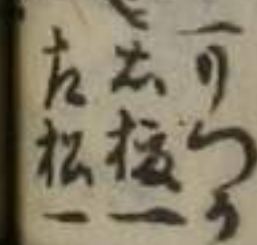
松一

100

本島蔵
乙未年
山

壽心銘

嘉祿六年春
 西少々々々々
 派建乃八東南
 切て嘉祿六年
 建乃八東南川
 嘉祿六年



曲地亦能生
尾乃為下人

清と紙とを
 下り坂の
 清と紙とを
 清と紙とを
 清と紙とを

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

[illegible]

一里八丁
同登
茂水

本意ハ
あつて
墨三郎
なり

懐極
 信原、大照の
 さうひのそし
 るすひ疎うり
 はあを四十七
 未



旅合

左の方
城のあり
落合のあり
美濃の城の
治

大滝あり

よ坂の臺
尾のより
曲のあり
高のあり

旅合あり
修下く坂

深山の中とて
険難ありて
んすくちる
本よりとて
先つ我あり
所よりとる
心地より

南木の城
こゆ



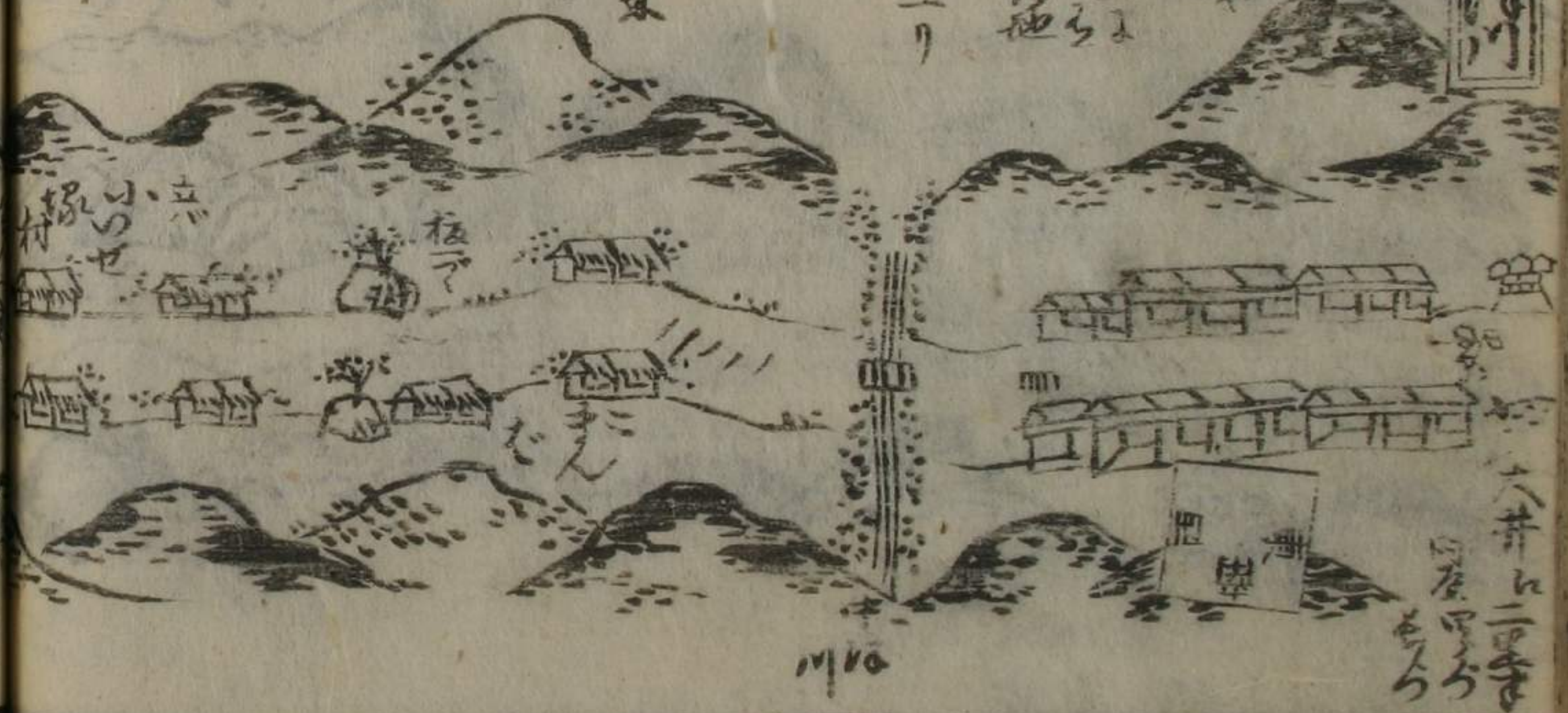
はとろひの
器と云ふ



中津川
より八百里
と云ふ

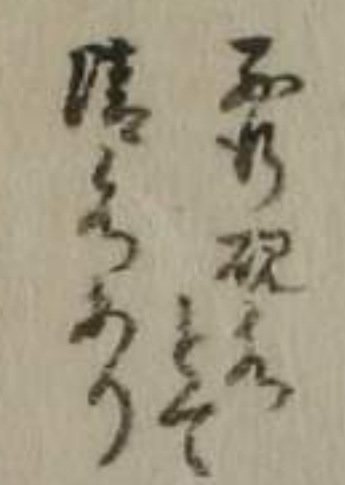
萬本の城
かきさの
きんぼ
一万三千
中津川より

中津川

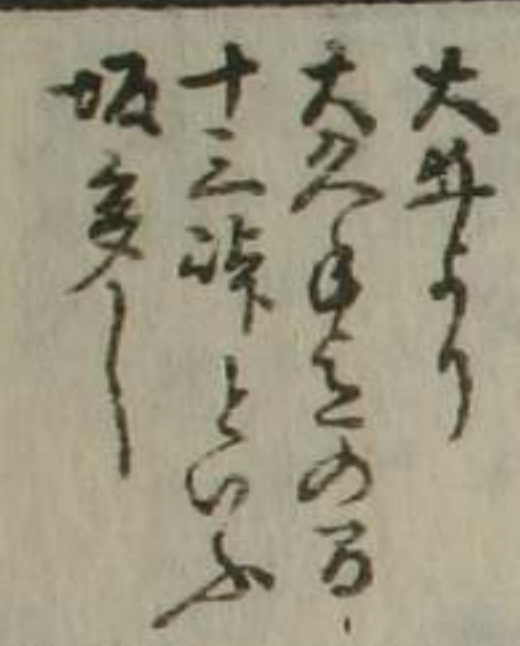


六井
二
三

大井川
山橋は橋杭
川中より
支那より
ゆきわたり
橋二つあり
川より二
派あり
と



加賀の
山



大久手



びんごう
 母家日本橋の
 少子如雲の
 白山みどり
 白山八日年
 白山みどり
 飛騨山のり
 白山みどり
 白山みどり



細久手

是より多
下り坂多
みよけと
三つのも
山坂谷合の
乃



三つけ
三里
向
小

三つけの町の
東より見る方
乃第一御
並本のねわり

いざう村の四
いづれかの塚を
住居のねり
落王山より地の
落王と御
けりや幸地
中森といふ
けあやみさけ
あけしん



三つけの水
碑あり
りつ
おね三た

市山嶽

可児の太

い

可児初

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

伏見

一里

可児の

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

同巻

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

伊豆

左川
松林の中
杉平の塚
あり
合後村の
うち

村急

村中

伏見

可也

あき
川
の
後
山
の
源

乙
子
川
の
源

尾
川
の
源

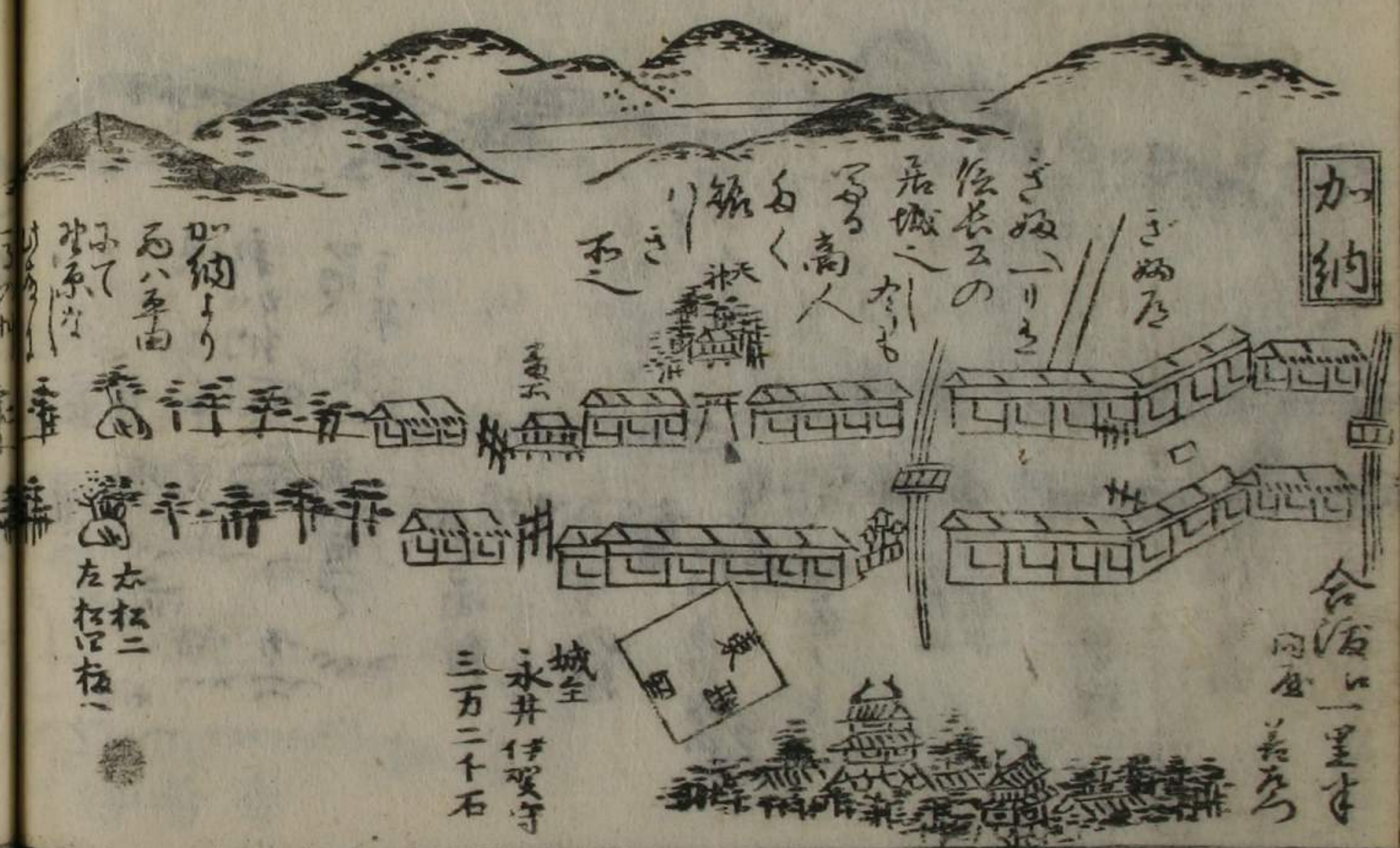
中
仙
の
源

桑
の
源

山
の
源

大
田
川
の
源
平
後





ぎぬの
 あり
 長瀬川と
 つあり
 ぎぬの
 エー川
 ニッ
 合後の十丁
 川上松がもの
 もふく
 一ッ合
 ちのふ
 合後

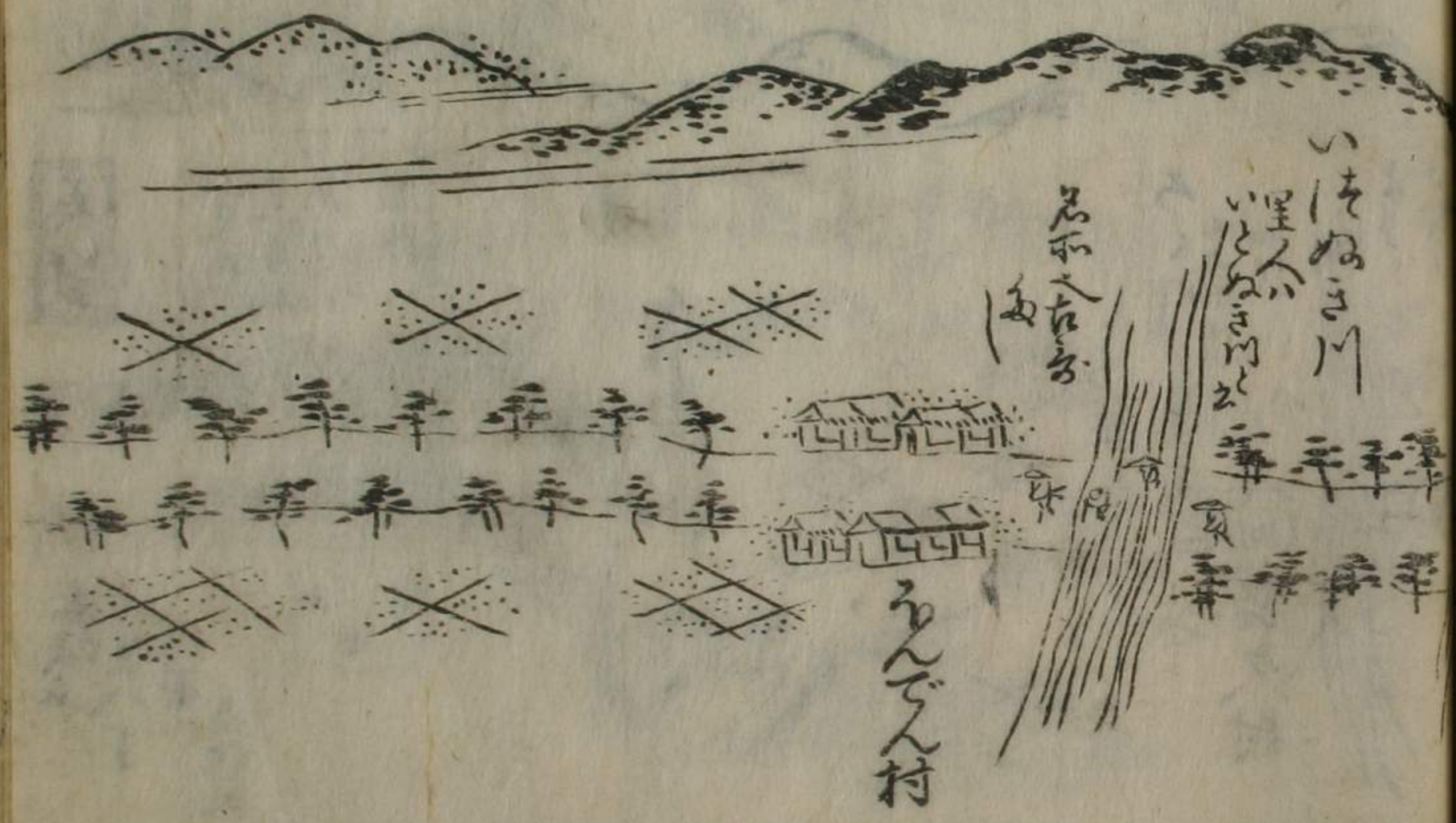
合渡

ぎぬの



一里六丁
 同
 三丁

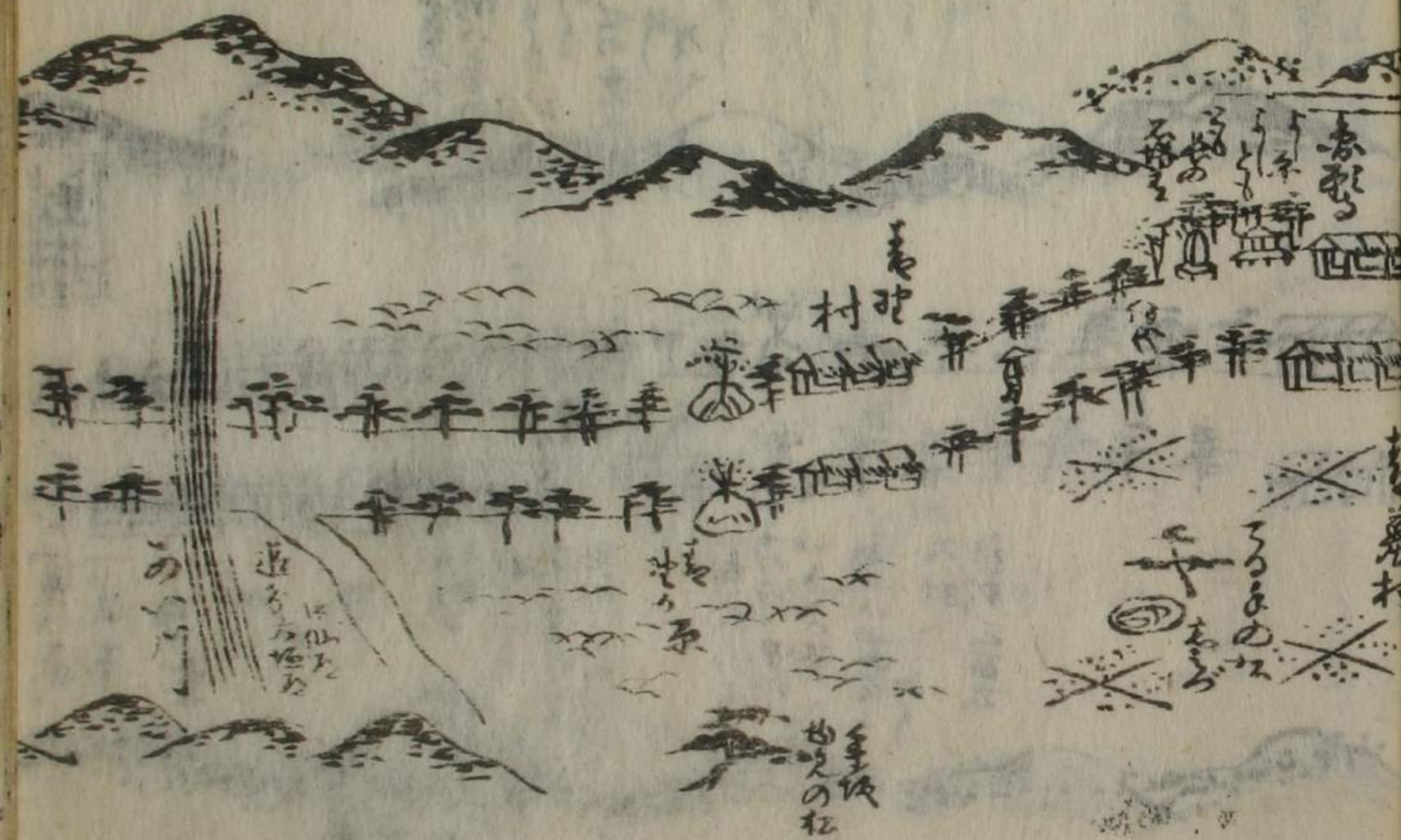
ちま



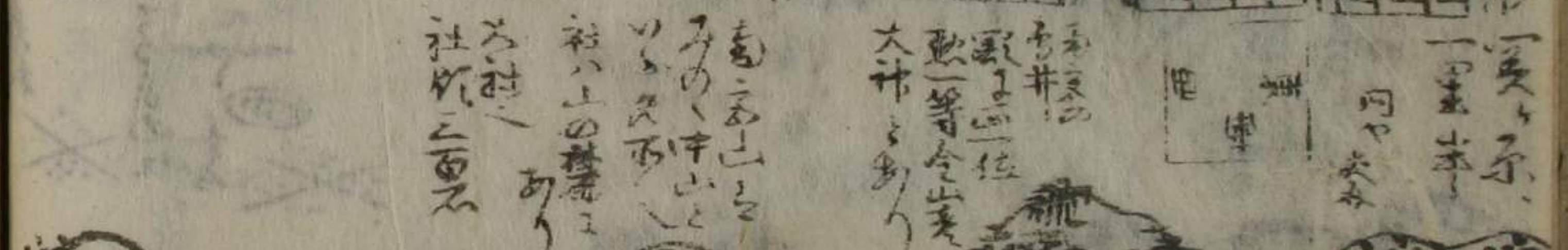
るんでん村

名所

いそぬさ川
 里人

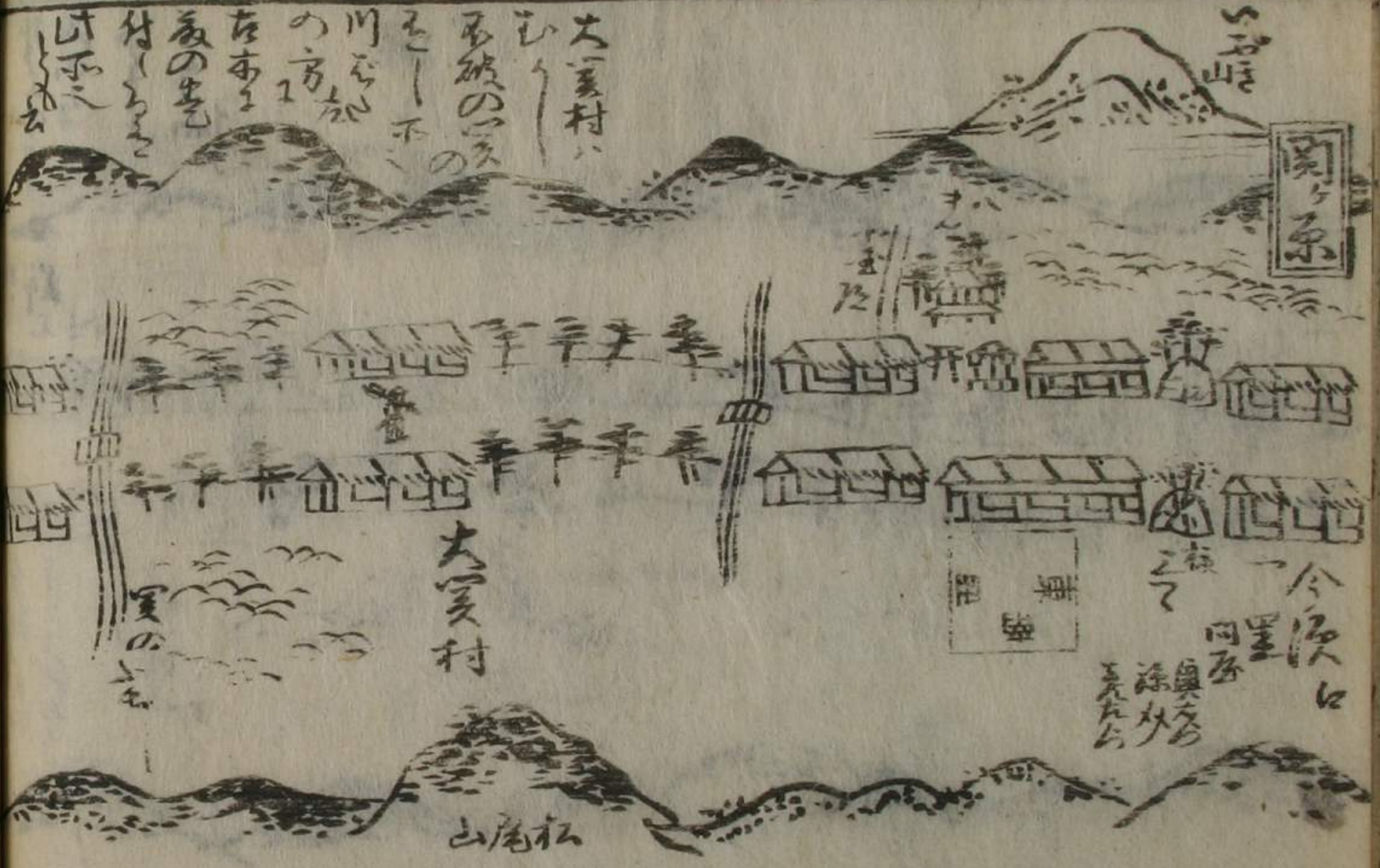


禹井



野上村





大里村
む
石破の
そ
川
の方
左
後
付
け
し
と
云



清又子
天
大
合
地

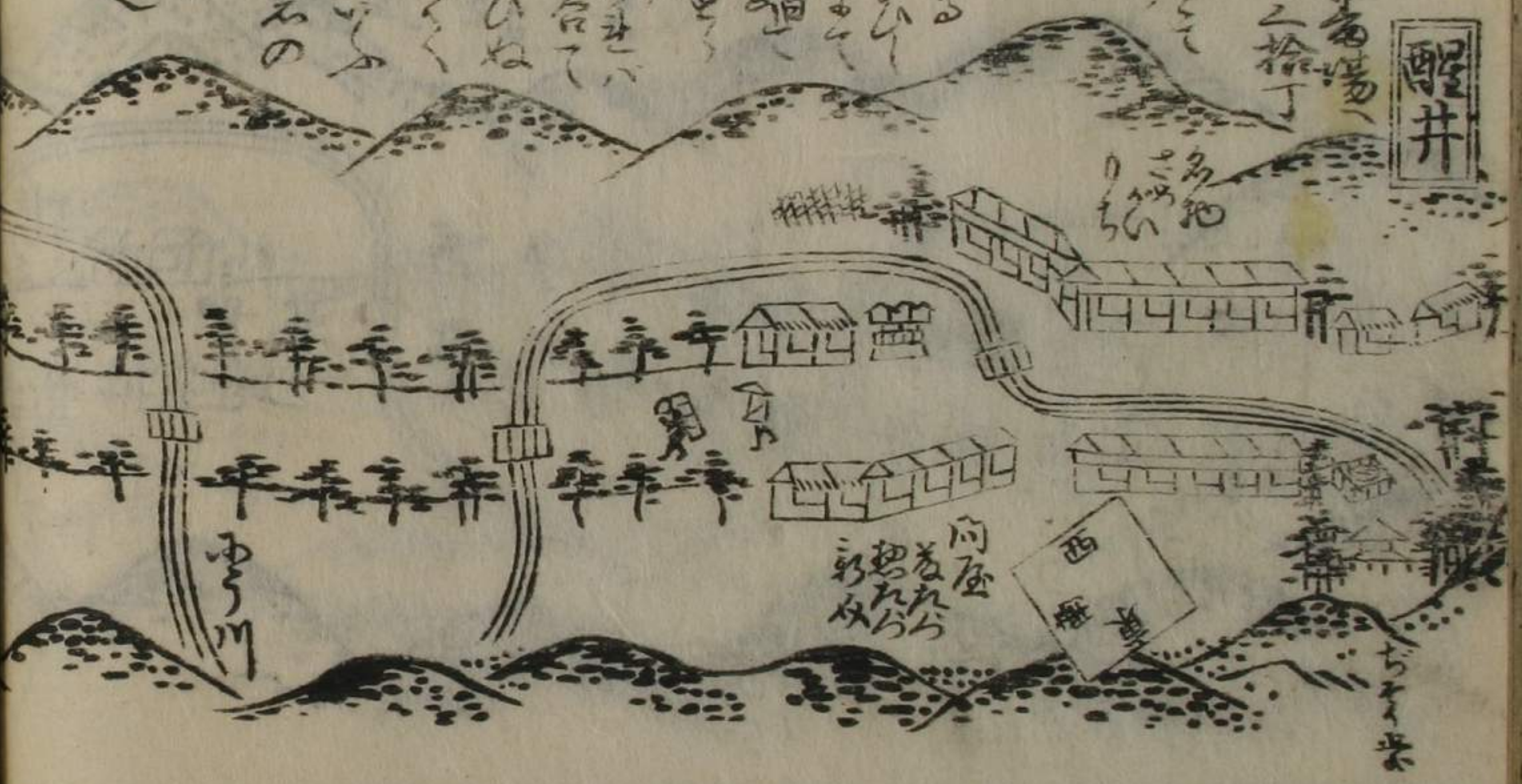
大里村

山尾松

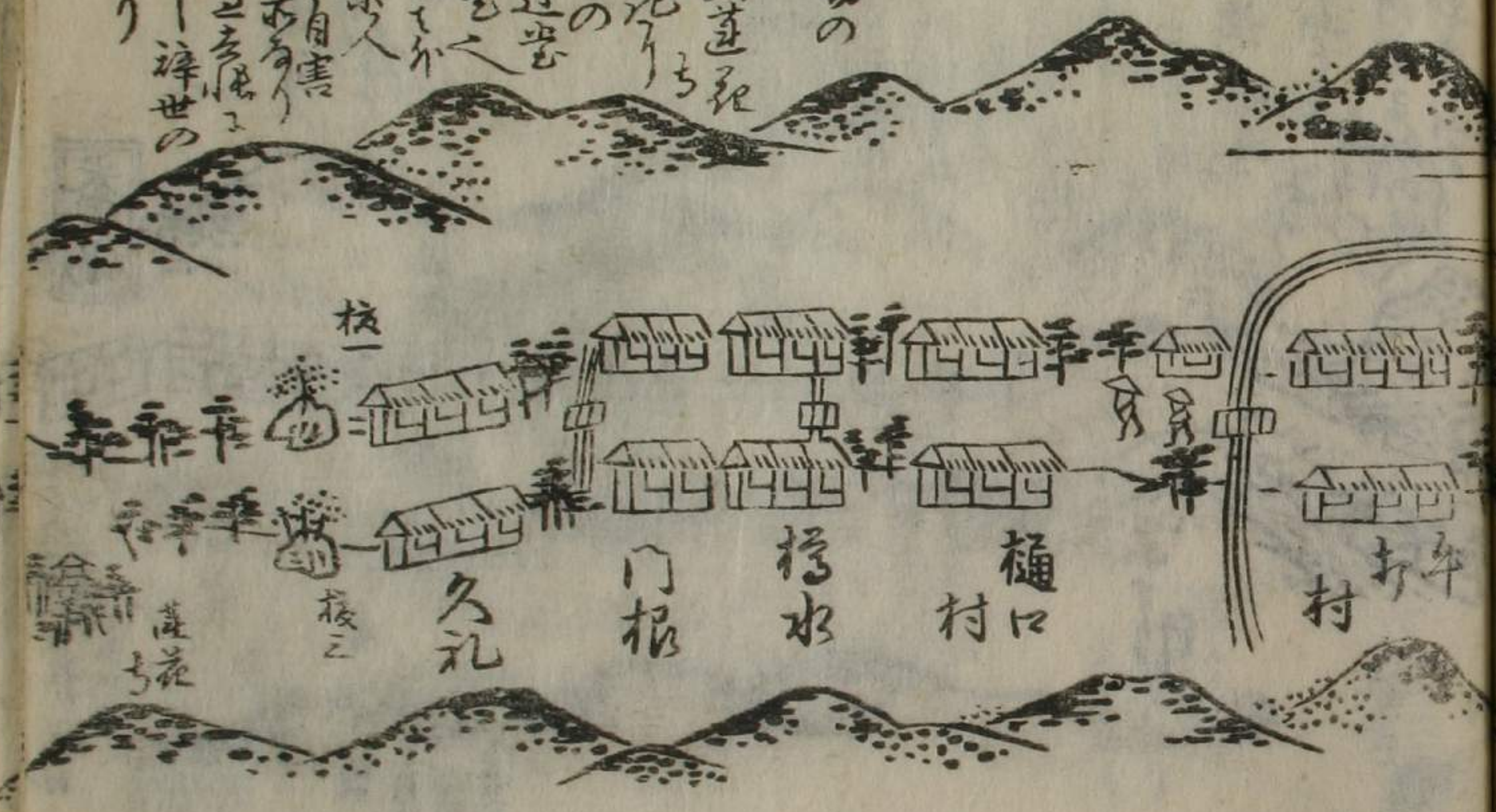
山尾松

醒井

日辛武蔵
 時侯山
 大蛇と
 水と
 刻
 醒井と
 水六六
 涌



入
 八
 本
 谷
 仲
 日
 害
 世



番場

糸原へり
漆あり
湖上十あり

揚汁除り
湖水眼より
よく好意
竹生所成美の
方より好意の
まぐり居座居と
まぐりどくの
男と主御中
奥の所竹生
又山とてあり
所美の方の所
まぐり山あり
まぐり山あり



一里六丁

新六
仁孝
長考

小計

一里六丁
右様三丁
あり

揚汁除り
漆あり
まぐり

少公
あり

名井か

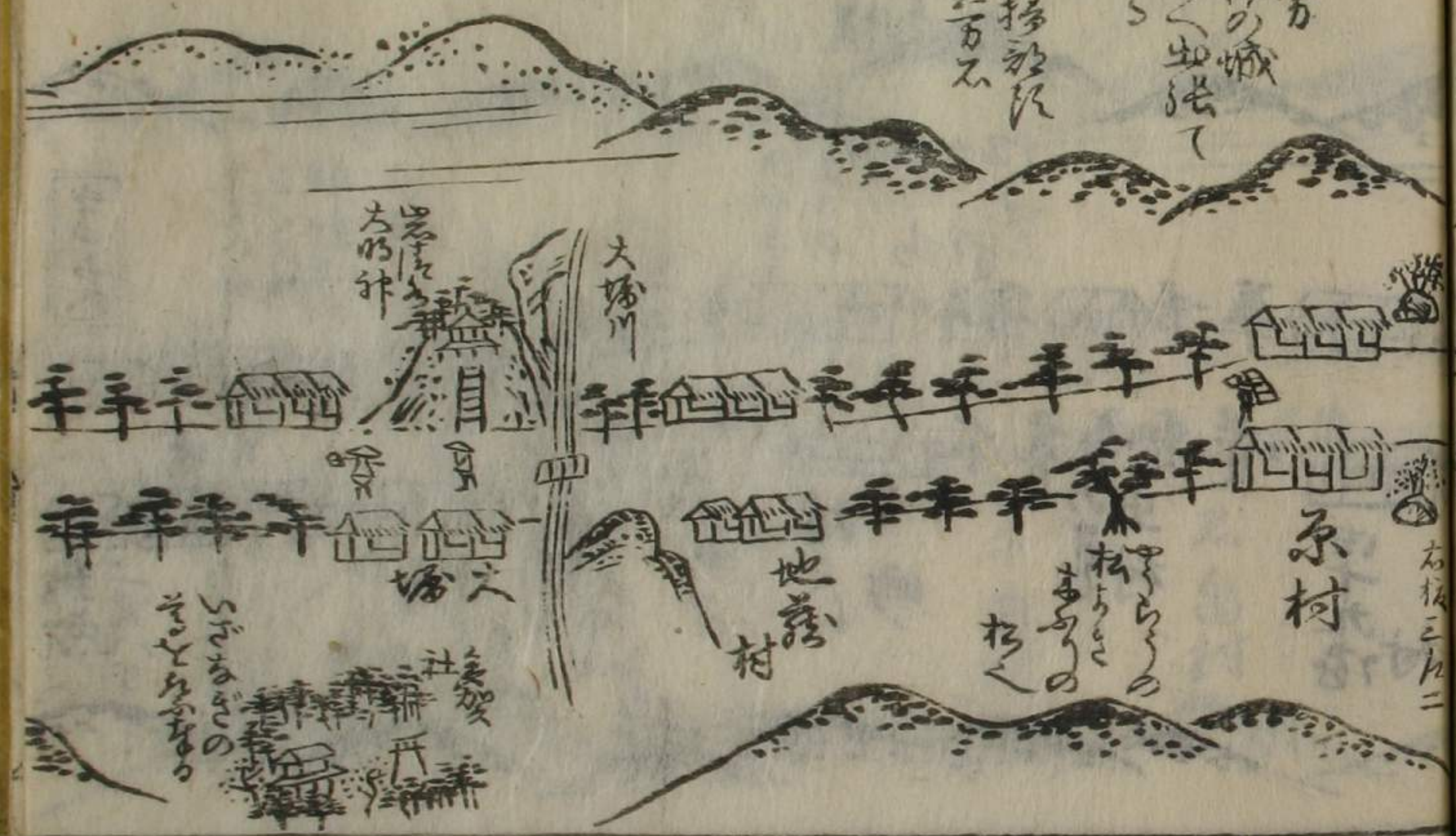
若ハハハ
多ハハハ
ありハハ
うハハハ

名井ハハ
多ハハハ
ありハハ
うハハハ

名井ハハ
多ハハハ
ありハハ
うハハハ



名井ハハ
多ハハハ
ありハハ
うハハハ



城部川



去使に
二里半
同金
清子

板三

板三

約常

中村

小幡村

佐田村

所村

古山及いせもみ

左二
右二
清子
池

老翁の
池

老翁の
池

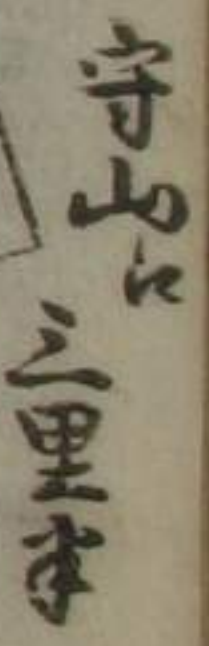
老翁の
池

老翁の
池

あま
おま
おま

里の
二十
れお
山と
明神
代の
城の
清子
其の
建の
社





守山

石橋より
東へある村

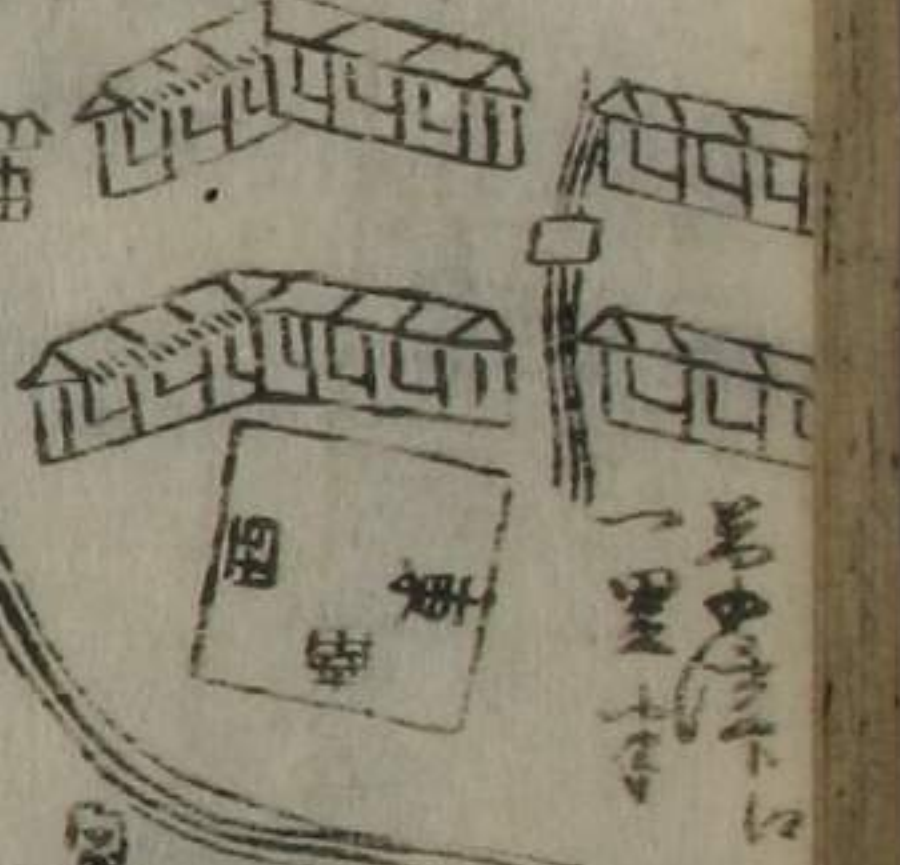
はる
馬場

金
の
葉

白
く
も
る
山

下
の
山

と
み
や
の
山



八
里

今
村

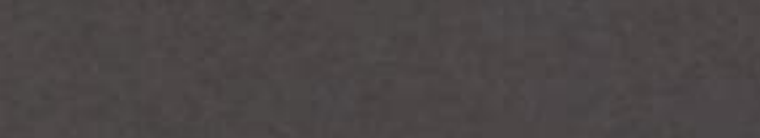
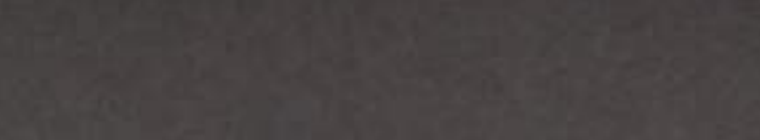
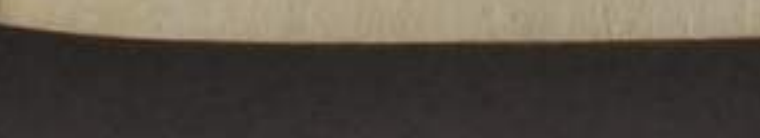
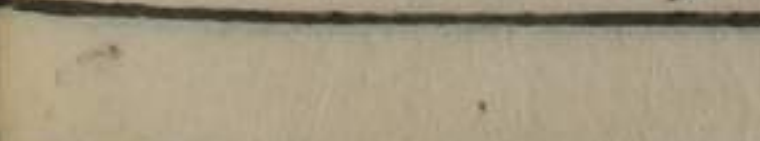
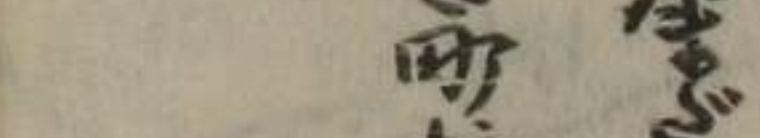
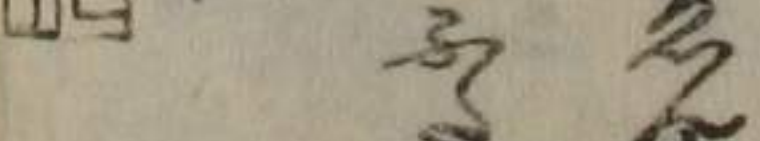
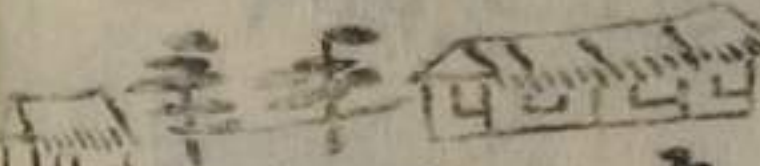
板

板

多
分
村

二
河
村

多
分
村
の
所



多
分
村

は
村
の
山

山
の
山

山
の
山

山
の
山

山
の
山

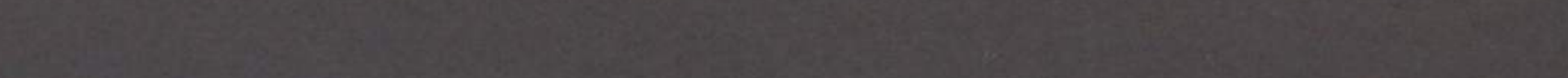
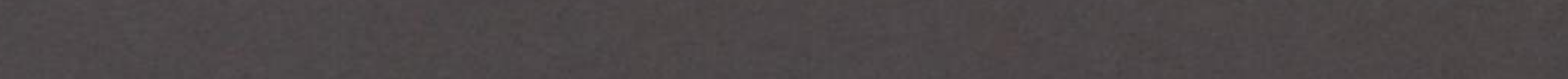
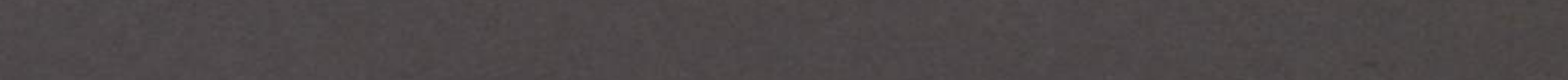
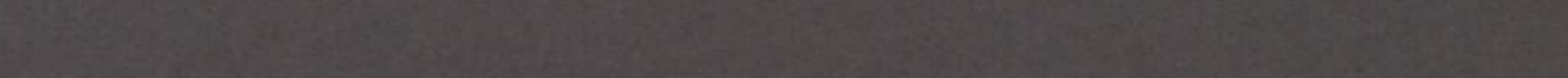
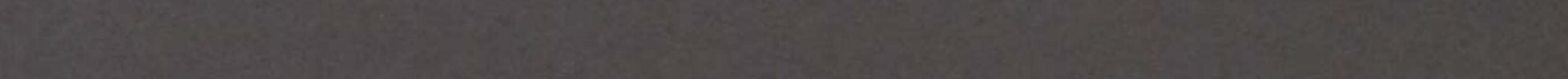
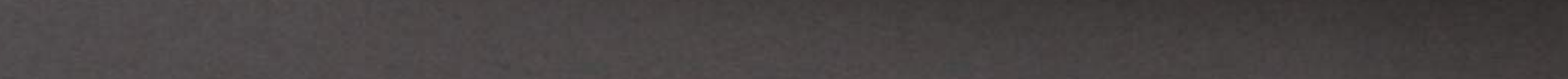
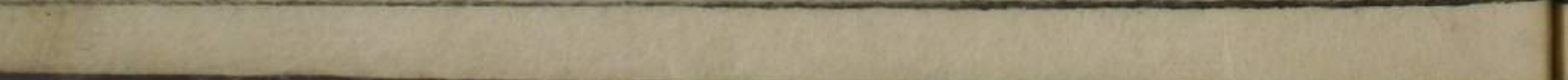
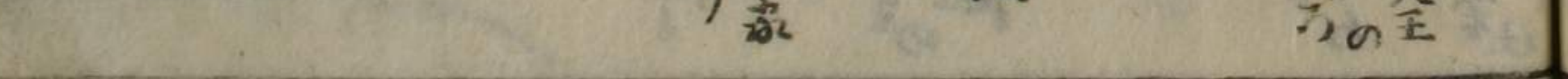
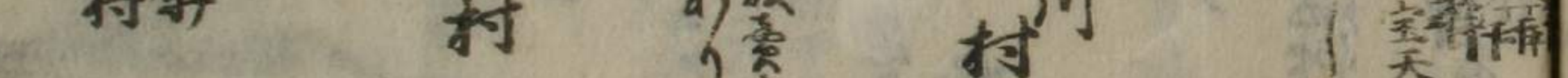
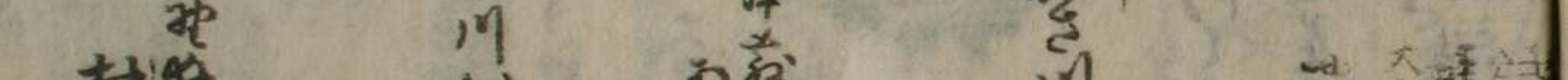
山
の
山

山
の
山

山
の
山

山
の
山

山
の
山



山
の
山

山
の
山

山
の
山

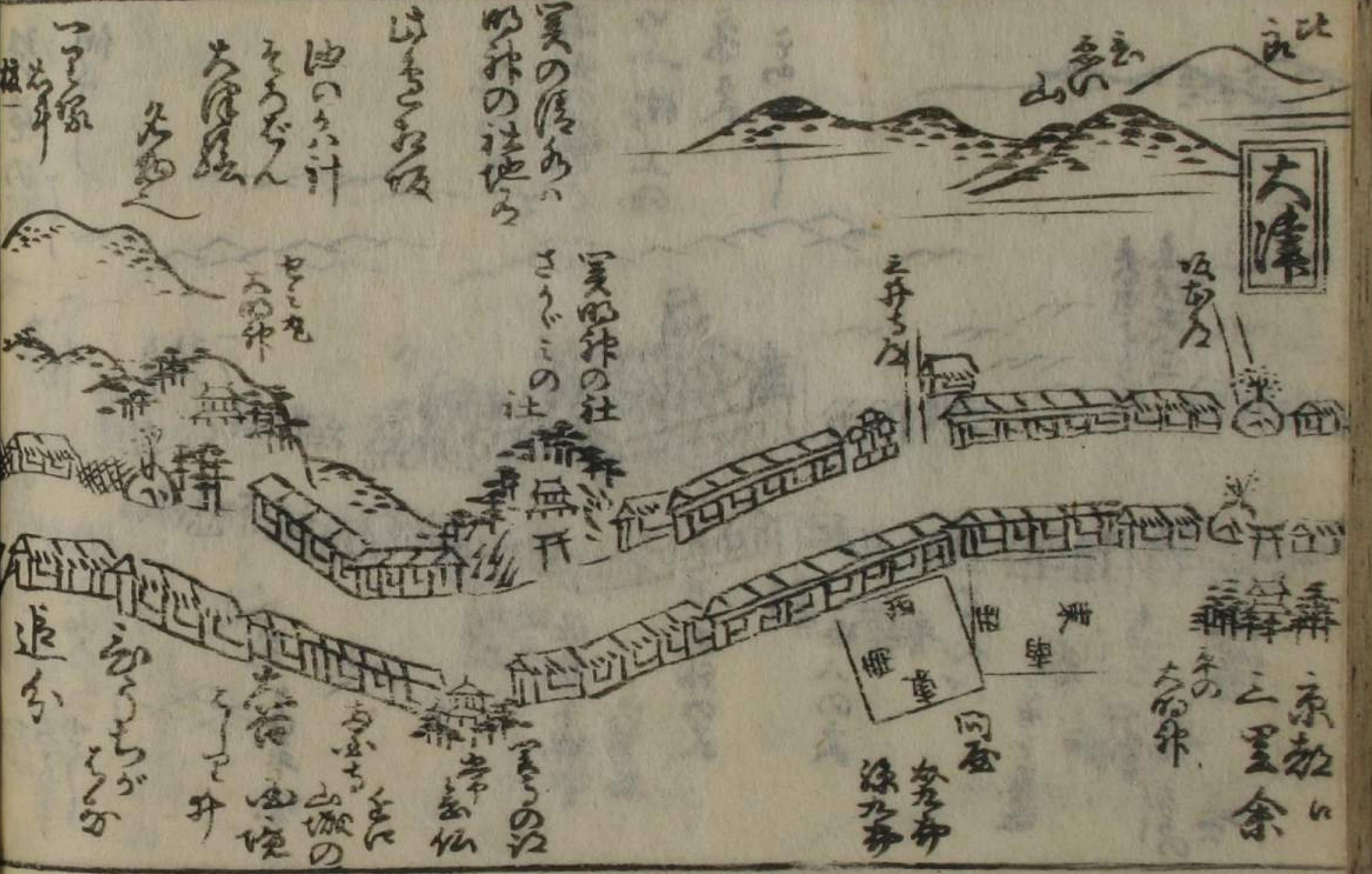
山
の
山

山
の
山

山
の
山

山
の
山

山
の
山



[illegible]

○大津より大坂にる法該保付

大津より大坂にる法該保付
 伏見の里 百七十五文
 八丁 百三十五文
 八丁 八十四文
 牧方の二里 百五十五文
 十二丁 七十三文
 大坂の五里 百六十五文
 百二十六文

不成物日

川の溜子のり

二七月	二日 土	十日	二二五八	八九六六
二八月	二日 土	十日	二二五八	八九六六
二九月	二日 土	十日	二二五八	八九六六
三十月	二日 土	十日	二二五八	八九六六
三十一月	二日 土	十日	二二五八	八九六六
三十二月	二日 土	十日	二二五八	八九六六

大坂 多量

寶曆六年子十月に戸 須家茂屋
 日 新屋清屋

